

「ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動」 指導資料

目次

1 「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」を盛り込んだ年間学習指導計画	
・5月の連休中にホームプロジェクトを実施する年間学習指導計画	---- 1
・夏期休業中にホームプロジェクトを実施する年間学習指導計画	----- 2
・冬期休業中にホームプロジェクトを実施する年間指導学習計画	----- 3
2 生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」と解説	----- 4～35
〈取組手順や方法，事前・事後指導の要点〉	
3 取組の中間指導方法	----- 36～40
4 短時間でできる発表会	----- 41
5 相互評価の方法	----- 42
6 「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導例	----- 43～44
・学校家庭クラブ活動の展開例	

指導資料の特徴

- この指導資料は，高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に役立てるため，授業での「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導・評価に重点をおいて作成しました。
- この指導資料のホームプロジェクトの部分は，左ページに生徒用教材，右ページに教師用解説で構成しています。教師が授業の前に印刷・製本しやすいように生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」を分冊としました。学校家庭クラブ活動の部分は教師用のみ，「授業活用型」の指導・展開例で構成しています。

年間学習指導計画

○5月の連休中にホームプロジェクトを実施

月	予定 時数	学 習 項 目	指 導 の 要 点
4	5	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 ア 青年期の自立と家族・家庭	<ul style="list-style-type: none"> 生涯発達の視点で青年期の課題を理解させ、家庭を築くことの重要性について考えさせる 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を見出し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付けさせる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 〈連休中の課題〉 ホームプロジェクトの実施 </div>
5	3	(3) ホームプロジェクトと学校 家庭クラブ活動	
	1	・ホームプロジェクトの生活課題の見出し、計画	
	3	・学校家庭クラブ活動の取組	
	1	・ホームプロジェクト発表会 ・ホームプロジェクトの反省・評価	
6	7	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 イ 子どもの発達と保育	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解させる
7	2	ウ 高齢期の生活	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の特徴と生活及び高齢社会の現状と課題について理解させる
	2	エ 共生社会と福祉	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域及び社会の一員としての自覚を持って共に支え合って生活することへの重要性について認識させる
8	15	(2) 生活の自立及び消費と環境 ア 食事と健康	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生涯を見通した食生活を営むことができるようにさせる
10	8	イ 被服管理と着装	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、目的に応じて着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができるようにさせる
11	8	ウ 住居と住環境	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、安全で環境に配慮した住生活が営むことができるようにさせる
12	9	エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができるようにさせる
	3	オ ライフスタイルと環境	<ul style="list-style-type: none"> 生活と環境とのかかわりについて理解させ、ライフスタイルを工夫し、主体的に行動できるようにさせる
	3	カ 生涯の生活設計	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した自己の生活について考えさせるとともに、主体的に生活を設計できるようにさせる
合計	70		

年間学習指導計画

○ 夏季休業中にホームプロジェクトを実施

月	予定 時数	学 習 項 目	指 導 の 要 点
4	5	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 ア 青年期の自立と家族・家庭	<ul style="list-style-type: none"> 生涯発達の視点で青年期の課題を理解させ、家庭を築くことの重要性について考えさせる
5	7	イ 子どもの発達と保育	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解させる
	2	ウ 高齢期の生活	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の特徴と生活及び高齢社会の現状と課題について理解させる
6	2	エ 共生社会と福祉	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域及び社会の一員としての自覚を持って共に支え合って生活することへの重要性について認識させる
7	3	(3) ホームプロジェクトと学校 家庭クラブ活動 ・ホームプロジェクトの生活課題の見出し、計画	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>〈夏期休業中の課題〉 ホームプロジェクトの実施</p> </div>
8	1	・学校家庭クラブ活動の取組	
8	3	・ホームプロジェクト発表会	
8	1	・ホームプロジェクトの反省・評価	
9	15	(2) 生活の自立及び消費と環境 ア 食事と健康	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生涯を見通した食生活を営むことができるようにさせる
11	8	イ 被服管理と着装	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、目的に応じて着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができるようにさせる
12	8	ウ 住居と住環境	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、安全で環境に配慮した住生活が営むことができるようにさせる
1	9	エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができるようにさせる
	3	オ ライフスタイルと環境	<ul style="list-style-type: none"> 生活と環境とのかかわりについて理解させ、ライフスタイルを工夫し、主体的に行動できるようにさせる
2	3	カ 生涯の生活設計	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した自己の生活について考えさせるとともに、主体的に生活を設計できるようにさせる
合計	70		

年間学習指導計画

○ 冬期休業中にホームプロジェクトを実施

月	予定 時数	学 習 内 容	指 導 の 要 点
4	5	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 ア 青年期の自立と家族・家庭	・生涯発達の視点で青年期の課題を理解させ、家庭を築くことの重要性について考えさせる
5	7	イ 子どもの発達と保育	・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解させる
6	2	ウ 高齢期の生活	・高齢化の特徴と生活及び高齢社会の現状と課題について理解させる
	2	エ 共生社会と福祉	・家庭や地域及び社会の一員としての自覚を持って共に支え合って生活することへの重要性について認識させる
7	15	(2) 生活の自立及び消費と環境 ア 食事と健康	・基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生涯を見通した食生活を営むことができるようにさせる
8			
9	8	イ 被服管理と着装	・基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、目的に応じて着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができるようにさせる
10	8	ウ 住居と住環境	・基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、安全で環境に配慮した住生活が営むことができるようにさせる
11	9	エ 消費生活と生涯を見通した	・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができるようにさせる
12			
	3	(3) ホームプロジェクトと学校 家庭クラブ活動 ・ホームプロジェクトの生活課題の見出し、計画 ・学校家庭クラブ活動の取組 ・ホームプロジェクト発表会 ・ホームプロジェクトの反省・評価	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を見出し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付けさせる
1	1		〈冬期休業中の課題〉 ホームプロジェクトの実施
	3		
	1		
	1		
	3	(2) 生活の自立及び消費と環境 オ ライフスタイルと環境	・生活と環境とのかかわりについて理解させ、ライフスタイルを工夫し、主体的に行動できるようにさせる
2	3	カ 生涯の生活設計	・生涯を見通した自己の生活について考えさせるとともに、主体的に生活を設計できるようにさせる
3			
合計	70		

私の ホームプロジェクト ファイル

題 目

--

年 組 番 氏名

私のホームプロジェクトファイルの使い方

1 はじめに

高等学校「家庭基礎」の学習内容にあるホームプロジェクトを学習する際の進め方を理解し、実施するため「私のホームプロジェクトファイル」を作成しました。このファイルで、ホームプロジェクトの学習活動である **See（問題発見）－Plan（計画）－Do（実施）－See（反省・評価）** という流れに沿って学習し、そのプロセスごとに自己評価をしながら実施することで、充実した課題解決学習を行うことができます。

2 ファイルの使い方手順

- (1) クリアファイルを1冊用意します。
- (2) 「私のホームプロジェクトファイル」のページに沿って、ホームプロジェクトの学習活動である、**See（問題発見）－Plan（計画）－Do（実施）－See（反省・評価）** という流れに沿って学習を進めます。
- (3) ホームプロジェクト実施の際に、集めた資料、写真など記録したものはすべてクリアファイルに保存します。
- (4) ホームプロジェクト実施の際に、製作したもの、活動したことなどは写真に撮り、印刷したものをクリアファイルに保存します。
- (5) ホームプロジェクトの終了後、この「私のホームプロジェクトファイル」とクリアファイルの中身を整理し、学習活動の流れを振り返ります。

このような記録の方法をポートフォリオといいます。

ポートフォリオとは？

ポートフォリオとは、書類入れやファイルを意味する言葉で、活動や学習のプロセスをまとめてファイルに入れて保存する方法です。集めた資料、写真など記録したものをすべて1つのファイルに保存しておくことで、思考のプロセスを目で見ることができます。活動を終えた後でファイルの中身を整理し、活動を振り返ることで、自分の成長を把握することができます。

【参考文献】

鈴木敏恵（2003），『ポートフォリオでプロジェクト学習！メディアリテラシー「ケータイ電話」』，教育同人社

See 1

ホームプロジェクトの学習活動を理解する

年 組 番 氏 名

1 ホームプロジェクトとは何か

2 どのような力をつけることができるのか

3 ホームプロジェクトはどのように進めるか

See

問題発見

Plan

計画

Do

実施

See

反省・評価

See 1

指導のねらい

ホームプロジェクトの学習活動を理解させる

準備する教材・教具

「私のホームプロジェクトファイル」, 教科書, 家庭科学習ノート (岩手県高等学校教育研究会家庭部会編集)

年 組 番 氏 名

1 ホームプロジェクトとは何か

家庭科で学んだ学習を活かし, 自分自身で家庭生活の生活課題を見出し, その生活課題の改善案を考え, 計画を立ててその改善案を実施し, 反省・評価して, 次の生活課題の解決に発展させていく学習活動

ホームプロジェクトの学習活動を理解させる

2 どのような力をつけることができるのか

生活課題を自分で見出し, 解決し, 生活を充実向上させることのできる力

教科書や家庭科学習ノートを活用して説明をする

3 ホームプロジェクトはどのように進めるか

See

問題発見

自分の家庭生活から生活課題を見出す

Plan

計画

具体的な改善案を考える

Do

実施

計画に沿って実施する。記録する

See

反省・評価

自己評価をする。今後の生活課題を考える

教科書や学習ノートを活用し, 取組例をあげながら説明をする

See 2

自分の家庭の生活課題を考える

1 家庭の生活課題チェック表

はい かい いえ に○をつけましょう

		はい	いいえ
子ども・家庭と	1	普段から家の手伝いをしている	
	2	家族とのコミュニケーションを大切にしている	
	3	自分の将来を考えている	
	4	子どもの育つ環境について考えたことがある	
	5	家族はみんな健康である	
自立	6	食べ物の好き嫌いをせず、何でも食べている	
	7	自分でご飯と味噌汁を作ることができる	
	8	地域の食材を使った調理をすることができる	
	9	1日に必要な食品の種類と量がわかる	
	10	冷蔵庫の中は整理整頓されている	
自立	11	自分でボタン付けができる	
	12	目的に合わせた衣服の選択をしている	
	13	洗濯の洗剤の量を知っている	
	14	衣服の表示の意味を理解している	
	15	着なくなった服は再利用するようにしている	
自立	16	自分の部屋の整理整頓はできている	
	17	家の各部屋は快適に過ごすことができている	
	18	家の中に高齢者や子どもに対して危険な箇所はない	
	19	非常用の持ち出し品の準備ができている	
	20	非常時の対策をしている(家具を固定するなど)	
環境	21	我が家の1ヶ月の生活費がどれくらいかを知っている	
	22	お小遣い帳をつけている	
	23	さまざまな販売方法があることを知っている	
	24	商品を選ぶときは実用的なものを選んでいく	
	25	環境に配慮した生活をしている	
集計			

〈結果〉チェック終了後、はいの数はいくつありましたか

- A (17~25) 充実した生活を送っています。さらに工夫することでよりよい生活を目指すことができます。自分が興味ある領域で題目を考えてみましょう
- B (9~16) 少しの工夫で改善できることがあるかもしれません。特にいいえが多かった領域で実践できる題目を考えてみましょう
- C (0~8) どの領域も題目として考えられます。特に自分が気になっている点があれば改善できる方法を考え、題目を設定しましょう

2 あなたが自分の家庭生活で行っている家事労働をあげなさい

①
②
③

今日の学習でわかったこと ----- ----- ----- ----- -----	自己評価 ア ホームプロジェクトの学習活動を知ることができたか A B C D イ 家庭生活の中で生活課題を見出すことができたか A B C D A : できた B : どちらかというのできた C : どちらかいうとできなかった D : できなかった 教師の評価・所見 A B C 記入漏れあり再提出です
---	--

See 2

指導のねらい

自分の家庭の生活課題を考えさせる

準備する教材・教具

「私のホームプロジェクトファイル」、教科書、家庭科学習ノート（岩手県高等学校教育研究会家庭部会編集）

1 家庭の生活課題チェック表

はいかいいえに○をつけましょう

		はい	いいえ
子どもの成長	1	普段から家の手伝いをしている	
	2	家族とのコミュニケーションを大切にしている	
	3	自分の将来を考えている	
	4	子どもの育つ環境について考えたことがある	
	5	家族はみんな健康で元気である	
自立	6	食べ物好き嫌いをせず、何でも食べている	
	7	自分でご飯と味噌汁を作ることができる	
	8	地域の食材を使った調理をすることができる	
	9	1日に必要な食品の種類と量がわかる	
	10	冷蔵庫の中は整理整頓されている	
自立	11	自分でボタン付けができる	
	12	目的に合わせた衣服の選択をしている	
	13	洗濯の洗剤の量を知っている	
	14	衣服の表示の意味を理解している	
	15	着なくなった服は再利用するようにしている	
自立	16	自分の部屋の整理整頓はできている	
	17	家の各部屋は快適に過ごすことができている	
	18	家の中に高齢者や子どもに対して危険な箇所はない	
	19	非常用の持ち出し品の準備ができている	
	20	非常時の対策をしている（家具を固定するなど）	
環境	21	我が家の1ヶ月の生活費がどれくらいかを知っている	
	22	お小遣い帳をつけている	
	23	さまざまな販売方法があることを知っている	
	24	商品を選ぶときは実用的なものを選んでる	
	25	環境に配慮した生活をしている	

家庭の生活課題チェックで、自分の家庭の生活課題を考えさせる

チェック項目は、中学校技術・家庭科家庭分野の四つの学習内容を五つの領域に分けて構成した

集計

〈結果〉はいの数はいくつありましたか

- A (17~25) 充実した生活を送っています。さらに工夫することでよりよい生活を目指すことができます。自分が興味ある領域で題目を考えてみましょう
- B (9~16) 少しの工夫で改善できることがあるかもしれません。特にいいえが多かった領域で実践できる題目を考えてみましょう
- C (0~8) どの領域も題目として考えられます。特に自分が気になっている点があれば改善できる方法を考え、題目を設定しましょう

2 あなたが自分の家庭生活で行っている家事労働をあげなさい

①	生徒に生活課題チェックの結果をもとに、自分が行っている家事労働を考えさせ、具体的にいくつか書き出させる
②	
③	

今日の学習でわかったこと	自己評価 ア ホームプロジェクトの学習活動を知ることができたか A B C D イ 家庭生活の中で生活課題を見出すことができたか A B C D A：できた B：どちらかというときできた C：どちらかいうときできなかった D：できなかった
	教師の評価・所見 A B C 記入漏れあり再提出です

評価の例

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

評価規準	十分満足できる (A)	概ね満足できる (B)	努力を要する生徒への支援	評価方法
ホームプロジェクトの学習活動について理解している (知識・理解)	ホームプロジェクトの学習活動について理解している	ホームプロジェクトの学習活動について理解している	生活課題が見出せなかった生徒には、生活課題について見出しを促すように促す	「私のホームプロジェクトファイル」への記入

See 3

家庭生活の生活課題の改善点を探す


年 組 番 氏 名

- 1 DVD「よくわかるホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」（全国高等学校家庭クラブ連盟）を見てわかったことを記入する

- 2 領域ごとに自分の生活課題を考え、記入する

家族・家庭と子どもの成長 	食生活と自立 
衣生活と自立 	住生活と自立 
消費生活と環境 	非常時に備えて 

- 3 2で見出した生活課題から取り組みたい題目を考える

取り組みたい題目	
どのように生活課題を改善したいか 現在	改善後
	

See 3

指導のねらい

家庭生活の生活課題の改善点を見出させる

準備する教具・教材

「私のホームプロジェクトファイル」、教科書、家庭科学習ノート（岩手県教育研究会家庭部会編集）、DVD「よくわかるホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」（全国高等学校家庭クラブ連盟）、DVDプレーヤー、テレビ又はプロジェクター







年 組 番 氏 名

1 DVD「よくわかるホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」（全国高等学校家庭クラブ連盟）を見てわかったことを記入する

.....

ホームプロジェクトの実践事例を見せ、進め方やまとめ方について理解させる

2 領域ごとに自分の生活課題を見出して、考え記入する

家族・家庭と子どもの成長 	食生活と自立 
衣生活と自立 	住生活と自立 
消費生活と環境 	非常時に備えて 

家庭生活のどの領域で生活課題が多かったか把握させる

中学校の技術・家庭科家庭分野の学習内容に「非常時に備えて」という領域を追加した

3 2で見出した生活課題から組みたい題目を考える

取り組みたい題目

どのように生活課題を改善したいか
 現在 → 改善後

グループごとに自分の生活課題について発表させる

家庭での今の状態とどのように改善したいのかのイメージをさせる

評価の例

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

評価規準	十分満足できる (A)	概ね満足できる (B)	努力を要する生徒への支援	評価方法
家庭生活の生活課題の発見・解決を深め、その思考・表現	家庭生活の生活課題の発見・解決を深め、その思考・表現	家庭生活の生活課題の発見・解決を深め、その思考・表現	生活課題の発見・解決を深め、その思考・表現	・取組状況の観察 ・「私のホームプロジェクトファイル」への記述

Plan 1

生活課題を改善するための計画を立てる

1 ホームプロジェクトを進める上で大事なことは何か

2 実施計画を立てる

実施計画	題目
題目選択の理由	
実施計画表	
いつ	
どこで	
手順	
予算	
協力者	

今日学習でわかったこと ----- ----- ----- ----- ----- -----	<p>自己評価</p> ア 生活課題を改善するための方法を考えることができたか A B C D イ 実施計画を適切に立てることができたか A B C D A : できた B : どちらかというときできた C : どちらかいうときできなかった D : できなかった
	<p>教師の評価・所見</p> A B C 記入漏れあり再提出です

Plan 1

指導のねらい

生活課題を改善するための計画を立てさせる

準備する教材・教具

「私のホームプロジェクトファイル」、教科書、家庭科学習ノート（岩手県高等学校教育研究会家庭部会編集）

1 ホームプロジェクトを進める上で大事なことは何か

<p>結果よりもプロセスを大事にすること</p> <p>結果を急がないこと。家庭生活に目を向け、考えることが大事。</p>	<p>1つ1つ解決していこう</p> <p>改善案をいくつも考え、よりよいものを目指す</p>
<p>行動（実施）しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集だけで終わらせないようにする ・実際にやってみることが大事 	<p>振り返りを大切にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録を必ずとる ・集めた資料などもとっておき、次の実施に活かす

2 実施計画を立てる

実施計画	題目										
<p>題目選択の理由</p> <p>実施計画表</p> <table border="1"> <tr><td>いつ</td><td></td></tr> <tr><td>どこで</td><td></td></tr> <tr><td>手順</td><td></td></tr> <tr><td>予算</td><td></td></tr> <tr><td>協力者</td><td></td></tr> </table>		いつ		どこで		手順		予算		協力者	
いつ											
どこで											
手順											
予算											
協力者											
<p>調査方法には、家庭科の教科書や資料集、家族への聞き取り、文献、インターネットなど様々な方法があることを知らせる</p> <p>ホームプロジェクトを充実したものにするため、実施の流れがわかるように計画することを理解させる</p>											

<p>今日の学習でわかったこと</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>	<p>自己評価</p> <p>ア 生活課題を改善するための題目を考えることができたか A B C D</p> <p>イ 実施計画を適切に立てることができたか A B C D</p> <p>A：できた B：どちらかというのでできた C：どちらかというのでできなかった D：できなかった</p> <p>教師の評価・所見</p> <p>A B C 記入漏れあり再提出です</p>
---	---

評価の例

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

評価規準	十分満足できる (A)	概ね満足できる (B)	努力を要する生徒への支援	評価方法
家庭生活の課題を解決するための立ち立き断	家庭生活を解決するための方法を考えることができる	家庭生活を解決するための方法を考えることができる	計画が立てられ、生徒の実践例を参考にしたり、再度確認させたりする	・取組状況の観察 ・「私のホームプロジェクトファイル」への記述

Plan 2

生活課題の実態調査と課題の把握をする

年 組 番 氏 名

(1) 実態調査

- ・何をどのように調べるのかを詳しく記入する
- ・集めた資料，写真など記録したものはすべてこのクリアファイルに保存する
- ・製作したもの，活動したことなどは写真に撮り，印刷したものをクリアファイルに保存する

実施日時： 年 月 日 ()

ア 調査

イ 調査からわかったこと

(2) 課題把握

- ・実態調査からわかった生活課題をあげ，改善策を考える
- ・改善策は複数考える

問題点

改善策

1

2



3

Plan 2

指導のねらい

生活課題の実態調査と課題の把握をさせる

年 組 番 氏名

(1) 実態調査

- ・何をどのように調べるのかを詳しく記入する
- ・集めた資料，写真など記録したものはすべてこのクリアファイルに保存する
- ・製作したもの，活動したことなどは写真に撮り，印刷したものをクリアファイルに保存する

実施日時： 年 月 日 ()

ア 調査

自分の家庭生活を見直し，
現状を調べさせる

イ 調査からわかったこと

自分の家庭生活を見直し，
背景や原因を考えさせる

(2) 課題把握

- ・実態調査からわかった生活課題をあげ，改善策を考える
- ・改善策は複数考える

問題点

実態調査から問題点を明確にする

1



2

3

改善策

- ・改善策は複数考えさせる
- ・ねらいをはっきりさせる

D o

ホームプロジェクトを実施する

年 組 番 氏 名

(3) 実施状況

- ・何をどのように調べるのかを詳しく記入する
- ・集めた資料，写真など記録したものはすべてこのクリアファイルに保存する
- ・製作したもの，活動したことなどは写真に撮り，印刷したものをクリアファイルに保存する
- ・家族と協力し，相談して進める

実施日時： 年 月 日 ()

※引用文献及び参考文献について
引用文献及び参考文献を明確にし，文章の最後に記載します
括弧は【 】を用います【参考文献】，【引用文献】
引用文献の場合はページ数を明記します。表記は原則として下記の通りです
著者名(発行年西暦)，『書名』，発行者名(所名)，ページ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

D○

指導のねらい

ホームプロジェクトを実施させる

年 組 番 氏名

(3) 実施状況

- ・何をどのように調べるのかを詳しく記入する
- ・集めた資料、写真など記録したものはすべてこのクリアファイルに保存する
- ・製作したもの、活動したことなどは写真に撮り、印刷したものをクリアファイルに保存する
- ・家族と協力し、相談して進める

実施日時： 年 月 日 ()

※引用文献及び参考文献について

引用文献及び参考文献を明確にし、文章の最後に記載します

括弧は【 】を用います【参考文献】、【引用文献】

引用文献の場合はページ数を明記します。表記は原則として下記の通りです

著者名(発行年西暦)、『書名』、発行者名(所名)、ページ

考えた改善策を実施させ、活動状況を記録させる

<h3>(3) 実施状況</h3>	<ul style="list-style-type: none">・実施によりどのような結果が得られたのかを記入する・集めた資料，写真など記録したものはすべてこのクリアファイルに保存する・製作したもの，活動したことなどは写真に撮り，印刷したものをクリアファイルに保存する・考察を記入する
-------------------	---

実施日時： 年 月 日 ()

実施結果

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

考察

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(3) 実施状況

- ・実施によりどのような結果が得られたのかを記入する
- ・集めた資料，写真など記録したものはすべてこのクリアファイルに保存する
- ・製作したもの，活動したことなどは写真に撮り，印刷したものをクリアファイルに保存する
- ・考察を記入する

実施日時： 年 月 日 ()

実施結果

実施内容とその結果を具体的に記入させる

考察

実施後に考えたことを記入させる

See 4

ホームプロジェクトの反省・評価をする

年 組 番 氏 名

(4) 反省・評価

- ・ホームプロジェクトの実施を振り返り、反省・評価をする
- ・今後の生活課題を考える
- ・家族・友人から評価やアドバイスを記入してもらう

実施日時： 年 月 日 ()

自己評価

題目設定は適切にできたか	A B C D
実施は計画通りに進めることができたか	A B C D
今後の家庭生活で継続できることを実施できたか	A B C D
十分に調査し、実験、観察等を行うことができたか	A B C D
家族の一員として、視野を広げることができたか	A B C D
実施後の考察ができたか	A B C D
目標が達成できたか	A B C D

A：できた B：どちらかというときできた C：どちらかいうときできなかった D：できなかった

反省

.....

.....

.....

.....

.....

.....

今後の生活課題

自己評価・反省から今後の生活課題を考える

.....

.....

.....

.....

家族・友人の評価

() より

.....

.....

.....

See 4

指導のねらい

ホームプロジェクトの反省・評価をさせる

年 組 番 氏名

(4) 反省・評価

- ・ホームプロジェクトの実施を振り返り、反省・評価をする
- ・今後の生活課題を考える
- ・家族・友人から評価やアドバイスを記入してもらう

実施日時： 年 月 日 ()

自己評価

題目設定は適切にできたか	A B C D
実施は計画通りに進めることができたか	A B C D
今後の家庭生活上で継続できることを実施できたか	A B C D
十分に調査し、実験、観察等を行うことができたか	A B C D
家族の一員として、視野を広げることができたか	A B C D
実施後の考察ができたか	A B C D
目標が達成できたか	A B C D

A：できた B：どちらかというときできた C：どちらかいうときできなかった D：できなかった

反省

実施を振り返らせ、反省・評価を記入させる

今後の生活課題

自己評価・反省から今後の生活課題を考える

家族・友人の評価

()より

実施についての評価やアドバイスを記入してしてもらう

See 5

ホームプロジェクトを発表する

年 組 番 氏名

○発表用レポートの作成

2分以内で自分のホームプロジェクトを発表できるように内容をまとめる
「提言シート」では家庭生活向上のためにできることを発表する

- 1 題目 → p. 4を参考に記入する
私は,

[Empty box for writing the title]

という題目で、ホームプロジェクトを実施しました

- 2 実施内容(実物, 写真があれば提示する) → p. 5, 6, 7, 8を参考に記入する

ホームプロジェクト実施内容
→ p. 5, 6を参考に記入する

[Lined box for writing implementation content]

ホームプロジェクト実施後
→ p. 7, 8を参考に記入する

[Lined box for writing implementation after]



このようになりました

- 3 提言シート

家庭生活の向上のためにできること

[Empty box for writing the proposal]

のために

を実行します

See 5

指導のねらい

ホームプロジェクトを発表させる

準備する教材・教具

「私のホームプロジェクトファイル」、教科書、家庭科学習ノート(岩手県高等学校教育研究会家庭部会編集)、付せん紙(25mm×75mm)ピンク色、付せん紙(25mm×75mm)水色

年 組 番 氏名

○発表用レポートの作成

2分以内で自分のホームプロジェクトを発表できるように内容をまとめる
「提言シート」では家庭生活向上のためにできることを発表する

1 題目 → p. 4を参考に記入する 私は、

発表時間を決めておき、
時間になったら合図をして
発表者に知らせる

発表の際に必要な資料、
実物などがあるときには
紹介することを伝える

という題目で、ホームプロジェクトを実施しました

2 実施内容(実物、写真があれば提示する) → p. 5, 6, 7, 8を参考に記入する

ホームプロジェクト実施内容

→ p. 5, 6を参考に記入する

ホームプロジェクト
実施前の状況と、
改善のために具体的に
どんなことを実施した
かを記入させる

ホームプロジェクト実施後

→ p. 7, 8を参考に記入する

ホームプロジェクト
の実施により
改善されたことを
具体的に記入させる

このようになりました

3 提言シート

家庭生活の向上のためにできること

今後の家庭生活中で、生徒自身が
ホームプロジェクトで継続して
いくことを考えさせる

のために

を実行します

評価の例

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

評価規準	十分満足できる (A)	概ね満足できる (B)	努力を要する 生徒への支援	評価方法
ホームプロジェクトで取り組んだことを要約し、発表することができる (思考・判断・表現)	ホームプロジェクトで取り組んだことを要約し、写真や実物などを用いて発表することができる	ホームプロジェクトで取り組んだことを要約し、発表することができる	発表用レポートの記述が進まない生徒には、「私のホームプロジェクトファイル」から抜き出して記述するように促す	・発表内容 ・発表態度 ・取組状況の観察 ・「私のホームプロジェクトファイル」への記述

See 6

ホームプロジェクトを評価する

年 組 番 氏 名

○クラスでの発表会を聞いて、勉強になったホームプロジェクトについてまとめる

番号	氏 名	内 容	勉強になったこと

See 6

指導のねらい

ホームプロジェクトを評価させる

年 組 番 氏 名

○クラスでの発表会を聞いて、勉強になったホームプロジェクトについてまとめる

番号	氏 名	内 容	勉強になったこと
			<div data-bbox="959 595 1406 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>他者の発表を聞き、自分の今後の生活に、活かすことのできる内容を記入させる</p> </div>

See 7

相互評価をする

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表した良紙はま ・ 発表の紙はま ・ 発表者と ・ 発表者と
------	--

付せん紙の色	1	内容が良かった	→	ピンク色
	2	発表が良かった	→	オレンジ色
	3	発表が良かった	→	水色
	4	発表が良かった	→	水色

1 内容が良かった

See 7

指導のねらい
相互評価をさせる

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者の発表内容を振り返る ・発表者の発表内容を振り返る ・発表者の発表内容を振り返る ・発表者の発表内容を振り返る
------	--

付せん紙の色	1	内容が良かった	→	ピンク色
	2	発表が良かった	→	ピンク色
	3	提言が良かった	→	ピンク色
	4	アドバイス	→	水色

1 内容が良かった

<p>〈記入例〉 出席番号 2 家族と協力して取り組んでいたのが良かった</p>	<p>評価者（生徒）に枠の中に付せん紙を貼らせる</p>
<p>誹謗・中傷等は書かないことを事前に話しておく</p>	

See 7

相互評価をする

2 発表が良かった

See 7

指導のねらい

相互評価をさせる

2 発表が良かった

<p>〈記入例〉 出席番号 3 大きな声で聞きやすかった</p>	<p>評価者（生徒）に枠の中に付せん紙を貼らせる</p>
<p>誹謗・中傷等は書かないことを事前に話しておく</p>	

See 7

相互評価をする

3 提言シートが良かった

See 7

指導のねらい

相互評価をさせる

3 提言シートが良かった

<p>〈記入例〉出席番号 4 これからも家庭生活で継続できる内容 だった</p>	<p>評価者（生徒）に枠の中に付せん紙 を貼らせる</p>
<p>誹謗・中傷等は書かないことを事前に 話しておく</p>	

See 7

相互評価シート

4 アドバイス

See 7

指導のねらい

相互評価をさせる

4 アドバイス

<p>〈記入例〉 出席番号 5 分かりやすくするために写真があると もっと良くなると思う</p>	<p>評価者（生徒）に枠の中に付せん紙 を貼らせる</p>
<p>誹謗・中傷等は書かないことを事前に 話しておく</p>	

See 8

今後の生活課題と改善点を考える

年 組 番 氏名

1 ホームプロジェクト全体を通しての反省をする
(題目設定から相互評価までを振り返る)

2 ホームプロジェクトの成果をあげる

1 -----
2 -----
3 -----

3 今後の生活課題と改善点を考える

今後の生活課題 ----- -----
改善点 ----- ----- ----- -----

今日の学習でわかったこと ----- ----- ----- -----
--

自己評価 ア ホームプロジェクトの成果を考えたことができたか A B C D イ 今後の生活課題を見つけ、その改善点を考えることができたか A B C D A：できた B：どちらかというときできた C：どちらかいうときできなかった D：できなかった
--

教師の評価・所見 A B C 記入漏れあり再提出です

See 8

指導のねらい

今後の生活課題と改善点を考える

準備する教材・教具

「私のホームプロジェクトファイル」、教科書、家庭科学習ノート（岩手県高等学校教育研究会家庭部会編集）

年 組 番 氏名

- 1 ホームプロジェクト全体を通しての反省をする
（題目設定から相互評価までを振り返る）

.....	ホームプロジェクトの実施内容 の反省ではなく、題目設定から、 相互評価までの全体を通しての 反省を記入させる
-------------------------	---

- 2 ホームプロジェクトの成果をあげる

1 2 3	ホームプロジェクトの成果を 考えさせ、何人かに発表させる
-------------------------------	---------------------------------

- 3 今後の生活課題と改善点を考える

今後の生活課題	再び自分の家庭生活を振り返り、 新たな生活課題とその改善点を 考えさせる
改善点	ホームプロジェクト実施前より も新たな生活課題や改善案を 考える力がついているか確認 させる

今日の学習でわかったこと	自己評価 ア ホームプロジェクトの成果を考えたことができたか A B C D イ 今後の生活課題を見つけ、その改善点を考えることが できたか A B C D A：できた B：どちらかというのできた C：どちらかいうとできなかった D：できなかった
教師の評価・所見 A B C 記入漏れあり再提出です	

評価の例

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している。

評価規準	十分満足できる (A)	概ね満足できる (B)	努力を要する生徒への支援	評価方法
ホームプロジェクトの方法を見直し、よりよいものにするため、思考を深めることができる (思考・判断・表現)	ホームプロジェクトの方法をよりよいものにするため、思考を深めることができる	ホームプロジェクトの方法をよりよいものにするため、思考を深めることができる	反省や成果が記述できない生徒には、「私のホームプロジェクトファイル」を抜き出すように促す	・取組状況の観察 ・「私のホームプロジェクトファイル」への記述

中間指導方法

- 長期休業中に、場所、時間を決めて、中間指導を行う
- ホームプロジェクトを取り組む上での質問があれば、助言をする
- 参考になる書籍があれば紹介する
- 各教室に、日時、場所を掲示する

中間指導は、予想される生徒の質問、それに対する教師の助言例、助言の際に参考となる書籍を掲載しました。おすすめの書籍にある「生徒向」の書籍は、生徒に貸し出して読ませることで、ホームプロジェクト実施の充実に役立てる書籍です。「教師向」の書籍は、教師が読むことで指導の充実に役立てる書籍です。「科学的視野」は、実験、調査、観察などの実践的・体験的な内容が掲載してある書籍、「社会的視野」は社会の変化に関わる内容が掲載してある書籍です。

○人の一生と家族・家庭及び福祉に関する質問

質問 1 家庭であまりお手伝いをしていない。ホームプロジェクトで、家事労働について考え家族のお手伝いをしたいと考えているが、どのように進めたらよいか。

助言例 家庭で行っている家事労働についてどのようなものがあるか実態調査する。その中で自分ができることを実施する。また、家事をより効率よくできる方法はないか考える。そのためにはどのような工夫が必要か考えてみる。

おすすめの書籍	著者名 (発行年西暦)	発行者名	金額	所蔵場所		生徒 向	教師 向	科学的 視野	社会的 視野
				閲覧室	産業教育 研究室				
青少年の家族と教育－家庭科教育からの展望－	牧野カツコ (2006)	家政教育社	2,626円	●			●		●
〈理想の家族〉はどこにあるのか？	広田照幸 (2002)	(株)教育開発研究所	2,100円	●			●		●
「困ったちゃん」の育て方	汐見稔幸 (2005)	株式会社 小学館	1,260円		*	●			●
場面別楽しむ「語りかけ」	中川信子 (2004)	株式会社 小学館	1,260円		*	●			●
「子育て理解教育」指導資料	文部科学省 (2004)	教育図書 株式会社	800円	●			●		●
教育・保育実習安心ガイド	阿部恵 鈴木みゆき (2002)	ひかりのくに 株式会社	1,155円	●			●		●
最新・保育実習まるごと BOOK	宮木立男 (2000)	株式会社 小学館	924円		*		●		●
ふまじめ介護 ゆうゆう流	田辺鶴瑛 (2011)	株式会社 主婦と生活社	1,300円		*	●			●
絵で見る介護 介護福祉士国 試〈実技試験〉対策改訂第12 版	川口よね子 中村智加枝 (2006)	福祉教育 カレッジ	1,890円		*		●		●
人にやさしいユニバーサルデ ザインー美しく快適な社会へ 向けてー	芦澤昌子 小林康人 (2005)	教育図書 株式会社	2,940円	●		●			●
絵でみる やさしい老人介護	奥山則子 (1990)	日本放送 出版協会	900円		*	●			●
おうちで楽しむにほんのもて なし	広田千悦子 (2008)	株式会社 技術評論社	1,554円		*	●			●
家庭科への参加型アクション 志向【22の実践を通して】	中間美砂子 (2006)	株式会社 大修館書店	2,100円	●			●		●
高校家庭科における 家族・保育・福祉・経済 －「家庭総合」「家庭基礎」 指導の基礎知識－	石川実 (2002)	家政教育社	2,625円	●			●		●

※所蔵場所の「閲覧室」は岩手県立総合教育センター閲覧室、「産業教育研究室」は岩手県立総合教育センター産業教育研究室 (* : 川地里美研修指導主事所蔵書籍)

○生活の自立及び消費と環境に関連する質問

質問2 料理を作るのが好きなので家族に何か料理を作りたい。どのように進めたらよいか。

助言例 ただ料理を作るだけではなく、目的を決める。普段の家族の食事内容を実態調査し、不足がちな栄養素を調べて食材を工夫したり、「夏バテ防止」や「貧血」のため、などの目的を決めて進めるとよい。

質問3 よく食べるインスタントラーメンについて調べたいが、どのように進めたらよいか。

助言例 インスタントラーメンの栄養について調べ、足りない栄養素をあげる。インスタントラーメンの栄養価をグラフで表すとわかりやすい。その栄養素を補うためにどんな食材がよいか、合わせて食べるとよい食材は何かを考えるとよい。また、インスタント食品と手作りの食品との違いも調べ、良い点、悪い点を考えてみる。

質問4 部活で体力をつけたいので、筋力がつく料理を考え、食生活を改善したい。どのようにして進めたらよいか。

助言例 筋力をつけるために、食事にはどのような栄養素を多く含む食材を使ったらよいか調べる。食事の仕方や内容だけでなく、普段の生活から筋力をあげるために必要なことは何かを調べることも必要である。運動後の食事を取るタイミング、睡眠、運動後の休息の取り方なども合わせて調べる。

質問5 貧血気味なので部活中も体力がない。貧血を改善するための方法を考え実施したい。どのように進めたらよいか。

助言例 貧血とはどのような原因で起こるのかを調べる。貧血を改善するために必要な栄養素を調べ、それを補う食材をつかった料理を考える。また、食事だけでなく、普段の生活で気をつけることなども合わせて調べ実施する。

質問6 お弁当のおかずが工夫がない。彩りもよくないので、お弁当に適するおかずを考えたい。どのように進めたらよいか。

助言例 毎日のお弁当のおかずにはどんなものが入っているか実態調査し、その中で足りない食品群は何かを考える。また、お弁当のおかずの条件として、彩りや調理法など、どんなものがあるか調べる。

質問7 洗濯を自分でしたことがないので、洗濯を題目にしたいがどのように進めたらよいか。

助言例 家族がどのように洗濯をしているのか、実態調査する。洗濯時間や使用している洗剤など、詳しく実態調査し、実際に自分で洗濯をする。また、汚れごとに適する洗濯方法や、染み抜きの方法なども調べ、家族の洗濯方法について考える。

質問8 ホームプロジェクトで部屋の片付けに取り組みたいが、どのように進めたらよいか。

助言例 片付ける部屋にあるものを調査する。部屋にあるものを、必要がないもの、よく使用するものなどに分類する。調査後、使いやすい部屋にするための収納の工夫、古くなったものの活用方法などを考えながら片付けを進める。

質問9 ホームプロジェクトで、我が家の家計の実態調査をしたいがどのように進めたらよいか。

助言例 家計の実態調査については家族の協力が必要である。家計簿をつけているか、レシートや領収書の保管をしているかなどを確認し、支出の内容を分野別に調査する。

おすすめの書籍	著者名 (発行年西暦)	発行者名	金額	所蔵場所		生徒 向	教師 向	科学的 視野	社会的 視野
				閲覧室	産業教育 研究室				
子どもの栄養と食育がわかる辞典	足立己幸 (2010)	成美堂出版	1,260円	●		●			●
服部幸應の食育の本	山口隆雄 (2007)	株式会社 グリーンハンド	1,365円	●			●		●
台所に立つ子どもたち“弁当の日”からはじまる「くらしの時間」—香川・国分寺中学校の食育—	竹下和男 (2006)	有限会社 自然食通信社	1,680円	●			●		●
子供を強くする100の食材	長澤池早子 (2005)	成美堂出版	1,050円		*	●			●
“弁当の日”がやってきた子ども・親・地域が育つ香川・滝宮小の「食育」実践記	竹下和男 (2003)	有限会社 自然食通信社	1,680円	●			●		●
子供の適量 おいしさ量—幼児から学童まで—	食べもの文化 編集部(1996)	株式会社 芽ばえ社	1,050円		*		●		●
おいしく健康をつくるあたらしい健康学	吉田企世子 松田早苗 (2011)	高橋書店	1,470円	●			●		●

おすすめの書籍	著者名 (発行年西暦)	発行者名	金額	所蔵場所		生徒 向	教師 向	科学的 視野	社会的 視野
				閲覧室	産業教育 研究室				
栄養の基本がわかる図解辞典 栄養用語がまるわかり	中村丁次 (2005)	成美堂出版	1,554円		*		●		●
かみやすい飲み込みやすい 介護食 家族いっしょの ユニバーサルレシピ	山田晴子 赤堀博美 (2005)	女子栄養 大学出版部	1,800円		*	●			●
糖尿病・肥満・高脂血症・高 血圧を予防して血液をキレイ にする万能レシピ	本多京子 (2002)	株式会社 アスキー	1,000円		*	●			●
家庭科実践選書シリーズ13 1人・1品・3まわり 新しい調理実習の試み	中屋紀子 (2002)	教育図書 株式会社	3,990円	●			●		●
食事で治す 前更年期症候 群～細胞から元気になるクッ キング～	続木和子 (2002)	星の環会	1,680円		*	●			●
おいしく食べてなおす 貧血・ 生理不順が気になるとき	宗像伸子 (1999)	株式会社 法研	1,260円		*	●			●
おいしく食べてなおす 血圧が高いとき	宗像伸子 (1999)	株式会社 法研	1,260円		*	●			●
おいしく食べてなおす 胃の調子がわるいとき	宗像伸子 (1999)	株式会社 法研	1,260円		*	●			●
骨粗鬆症を防ぐ食事 カルシウム600mgメニュー	宗像伸子 (1994)	日本放送 出版協会	1,500円		*	●			●
食品「いつも食べる量」の エネルギー・塩分早わかり	女子栄養大学 出版部『栄養 と料理』(1989)	女子栄養 大学出版部	1,264円		*	●		●	
国産 米粉でクッキングおそ うざいからお菓子・パンまで	坂本廣子 坂本佳奈 (2003)	社団法人 農山漁村 文化協会	1,500円		*	●			●
岩手発 雑穀食彩館	塩塚和子 (2002)	岩手日報社	1,890円	●		●			●
キッチンおもしろ自由研究	ガリレオ工房 (2011)	株式会社 永岡書店	1,029円		*	●		●	
キッチンでサイエンス 食べ物実験 レシピ	左巻健男 (2010)	株式会社 文一総合出版	1,680円	●		●		●	
ワークシートでらくらく 科学クラブPart 2 自由研究にも使える 優れネタ24選	國眼厚志 高田昌慶 福井広和 (2008)	明治図書出版 株式会社	2,373円	●		●		●	
小学生のキッチンで かんたん実験60	佐藤幹夫 (2007)	株式会社 学習研究社	945円		*	●		●	
N. SATOの生活科学実験 講座 ①食と健康	佐藤典子 (2007)	教育図書 株式会社	2,520円	●			●	●	
つくってたべよう! お料理マジック2	村上祥子 (2006)	株式会社 教育画劇	1,575円		*	●		●	
子供の科学流 手づくり食品	増尾清 (1996)	株式会社 誠文堂新光社	1,239円		*	●		●	
消費者にできる 食品簡易テスト	増尾清 (1980)	株式会社 誠文堂新光社	1,200円		*		●	●	
洋菓子材料の調理科学	竹林やゑ子 (1979)	株式会社 柴田書店	2,880円		*		●	●	
5色を食べるスポーツ栄養塾	鈴木いづみ (2009)	株式会社 学習研究社	1,260円		*	●			●

おすすめの書籍	著者名 (発行年西暦)	発行者名	金額	所蔵場所		生徒 向	教師 向	科学的 視野	社会的 視野
				閲覧室	産業教育 研究室				
スポーツ選手の栄養学と食事プログラム	青山晴子 (2003)	株式会社 西東社	1,500円		*	●			●
捨てない主義で「布」生活	八田尚子＋自然食通信編集部編 (2002)	有限会社 自然食通信社	1,260円		*	●			●
家庭科実践選書シリーズ 12 身近な素材を活用した衣生活の実験・実習	中橋美智子 (2002)	教育図書 株式会社	3,990円		*		●	●	
続 図解 家庭科の実験・観察・実習指導集	日下部信幸 下村道子 (2000)	開隆堂出版 株式会社	2,900円		*		●	●	
図解 家庭科の実験・観察・実習指導集	日下部信幸 ほか5名 (1997)	開隆堂出版 株式会社	2,800円		*		●	●	
21世紀へー家庭科実践選書シリーズ これからの被服ー身近な材料でできる被服実験	中橋美智子 (1996)	教育図書 株式会社	3,496円		*		●	●	
確かな目を育てる 図説 被服の材料	日下部信幸 (1986)	開隆堂出版 株式会社	2,957円		*		●	●	
もっとたのしく、ちいさなお片付け。	なかがわみどり・ムラマツエリコ (2011)	株式会社 メディアファクトリー	1,155円			●			
重曹活用ハンドブック	阿部絢子・佐光紀子・菅原明子・姫野友美 (2006)	株式会社 角川SSコミュニケーションズ	840円		*	●		●	
「重曹＋酢」で徹底おそうじ	池永昌靖 (2006)	株式会社 双葉社	900円		*	●		●	
お金のしつけと子どもの自立 金銭感覚を身につけさせる50のポイント	子育てグッズ&ライフ研究会 (2004)	合同出版 株式会社	1,470円		*		●		●
自己責任を育てる消費者教育	山本紀久子 (1999)	日本書籍 株式会社	1,995円		●		●		●
だれでもできる バックテストで環境しらべ	岡内完治 (2000)	合同出版 株式会社	1,365円		*	●		●	
ゴミのへらし方2 ドイツに学ぶ ゴミ・環境ビジョン21編	ごみ・環境ビジョン21 (2003)	星の環会	1,050円		●	●			●
いつもの家事がどんどん楽になる！	土田登志子 藤原千秋 (2011)	高橋書店	1,260円			●			●
おばあちゃんからの暮らしの知恵	小元慎吾 (2011)	高橋書店	1,155円			●			

○非常時に関連する質問

質問10 非常時の対策を題目にしたいが、どのように進めたらよいか。できれば非常時の食事のことを題目にしたい。

助言例 非常時のライフラインを考え、どのような食事が可能か考える。非常食、保存食にはどのようなものを用意したらよいか。また、家族の人数に合わせて必要な食事の量を考え、非常時の食事の献立を考えてみる。

おすすめの書籍	著者名 (発行年西暦)	発行者名	金額	所蔵場所		生徒 向	教師 向	科学的 視野	社会的 視野
				閲覧室	産業教育 研究室				
4コマですぐわかる みんなの防災ハンドブック	草野かおる (2011)	株式会社ディ スカヴァー・ トゥエンティ ワン	1,260円			●			●
地震 停電 放射能 みんなで生き抜く防災術	小学館 防災チーム (2011)	株式会社 小学館	735円	●		●			●
がんばらなくても大丈夫 台所防災術	坂本廣子 坂本佳奈 (2011)	社団法人 農山漁村 文化協会	1,200円		*	●			●
これからの非常食・災害食に 求められるもの―災害時に 必要な食の確保―	門脇基二 井上誠 (2008)	株式会社 光琳	2,625円	●			●		●
防災袋に必携！地震の時の 料理ワザ【電気が復旧するま での1週間】	坂本廣子 (2006)	株式会社 柴田書店	998円	●		●			●
サバイバルクッキング どん なときでも食べぬく元気術	坂本廣子 (1996)	偕成社	1,260円	●		●			●
節電 節ガス 節水 賢いレシピ	石澤清美 (2011)	株式会社 主婦の友社	630円		*	●			●
レシピブログ 少ない電力& 火力でおいしくつくる	石倉笑 藤澤英一 (2011)	株式会社 宝島社	880円		*	●			●
支え合おう日本！ 節電レシピ 電気もガスも使 わない0W(ワット)メニュー	藤井恵 (2011)	株式会社 角川グルー プパブリッ シング	680円		*	●			●

※岩手県立総合教育センター閲覧室の書籍は、来所による貸し出しを行っています。1回につき5冊まで20日間以内で貸し出しを行っています。



短時間でできる発表会

方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1 発表会前に、生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」のp. 9の発表会用レポートを作成させる <ul style="list-style-type: none"> ・1人2分間以内で発表することを話しておく ・時間を計って発表者に知らせる(30秒前で合図など) 2 実施の写真や図、実物がある場合には、紹介させる 紹介の方法：実習室などで発表会をする場合、実習室にテレビやプロジェクタがあれば、写真や図、実物をビデオカメラで撮影して映し出す 3 提言シートにまとめ発表させる
-----	--

1 発表用レポートの作成

2分以内で自分のホームプロジェクトを発表できるように内容をまとめさせる。
「提言シート」では家庭生活向上のためにできることを発表させる。

2 発表会

自分の実施したホームプロジェクトの様子がわかる写真や実物などがある場合には紹介させる。

○実施前と実施後の紹介



See 5 ホームプロジェクトを発表する

年 組 番 氏 名

○発表用レポートの作成
2分以内で自分のホームプロジェクトを発表できるように内容をまとめる「提言シート」では家庭生活向上のためにできることを発表する

1 題目 → 生徒用教材 p. 4 を参考に記入する

私は、

という題目で、ホームプロジェクトを実施しました

2 実施内容(実物、写真があれば提示する) → 生徒用教材 p. 6, 6, 7, 8 を参考に記入する

ホームプロジェクト実施内容
 生徒用教材 p. 6, 6 を参考に記入する ホームプロジェクト実施結果
 生徒用教材 p. 7, 8 を参考に記入する

→

このようになりました

3 提言シート
 家庭生活の向上のためにできること

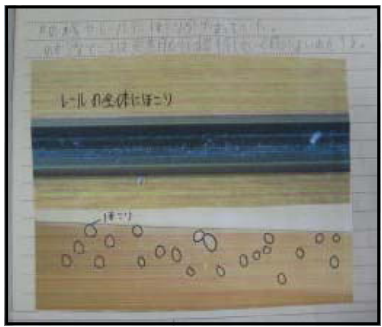
のために

を 実 行 し ま す

○作成した資料の紹介



○実施内容や結果の紹介



3 提言シートにまとめ発表する

家庭生活向上のためにできることを発表させる。



テレビやプロジェクタがあれば、ビデオカメラで撮影して、紹介する方法もある

相互評価の方法

用意するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・付せん紙 (25mm×75mm) ピンク色 ・付せん紙 (25mm×75mm) 水色 																
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・用意したピンク色と水色の付せん紙を生徒に10枚～20枚ずつ配っておく (実習室で実施する場合には、班ごとに配っておく) ・発表者が発表した後、各自で良かった点を付せん紙に記入する。発表者一人に一枚の付せん紙を記入する <table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">1</td> <td style="padding: 2px 5px;">内容良かった</td> <td style="padding: 2px 5px;">→</td> <td style="padding: 2px 5px;">ピンク色</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">2</td> <td style="padding: 2px 5px;">発表良かった</td> <td style="padding: 2px 5px;">→</td> <td style="padding: 2px 5px;">ピンク色</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">3</td> <td style="padding: 2px 5px;">提言シート良かった</td> <td style="padding: 2px 5px;">→</td> <td style="padding: 2px 5px;">ピンク色</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">4</td> <td style="padding: 2px 5px;">アドバイス</td> <td style="padding: 2px 5px;">→</td> <td style="padding: 2px 5px;">水色</td> </tr> </table> ・良かった点を記入した付せん紙は発表者の「私のホームプロジェクトファイル」の相互評価のシート (生徒用教材 p.11, 12, 13, 14) へ貼る ・発表者の「私のホームプロジェクトファイル」の相互評価シート (生徒用教材 p.11, 12, 13, 14) を、黒板などに貼っておくと、各自が付せん紙を貼り付けやすい 	1	内容良かった	→	ピンク色	2	発表良かった	→	ピンク色	3	提言シート良かった	→	ピンク色	4	アドバイス	→	水色
1	内容良かった	→	ピンク色														
2	発表良かった	→	ピンク色														
3	提言シート良かった	→	ピンク色														
4	アドバイス	→	水色														

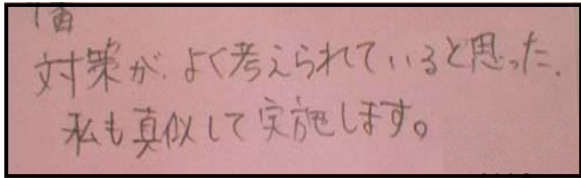
1 付せん紙を用意する

ピンク色と水色の付せん紙を用意し、生徒に配っておく。

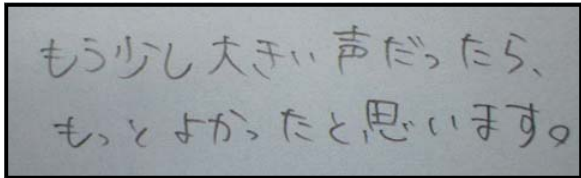


2 相互評価をする

○内容、発表、提言シートが良かった点はピンク色の付せん紙に記入する。



○アドバイスがある点は水色の付せん紙に記入する。



See 7 相互評価をする

評価方法

- ・発表したホームプロジェクトを評価します。
- ・発表の良かった点を付せん紙に記入し発表者に渡します。
- ・付せん紙に自分の出席番号を記入します。
- ・発表者は渡された付せん紙をこのシートに貼り付けます。

付せん紙の色	内容	→	色
1	内容良かった	→	ピンク色
2	発表良かった	→	ピンク色
3	提言シート良かった	→	ピンク色
4	アドバイス	→	水色

1 内容良かった

対策がよく考えられていると思った。私も真似して実施します。	
もう少し大きい声だったら、もっとよかったです。	

3 付せん紙を貼る

発表者の「私のホームプロジェクトファイル」の相互評価シート (p.11, 12, 13, 14) を、黒板などに貼っておくと、各自が付せん紙を貼り付けやすい。



「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導例

・「家庭基礎」における指導例

活動内容	学習内容	指導例	展開例	
1 研究・広報活動	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉	ア 青年期の自立と家族・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ホームプロジェクトの取組 〈生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」〉 	
		イ 子どもの発達と保育	<ul style="list-style-type: none"> 基礎縫いで袋物を製作し、地域生活に役立てる 地域の遊び場・危険箇所を調査して安全マップを作成する 	① ②
		ウ 高齢期の生活	<ul style="list-style-type: none"> 地域で行っている高齢者の社会参加について調べる 	③
		エ 共生社会と福祉	<ul style="list-style-type: none"> 地域の福祉サービスについて調査する 	④
	(2) 生活の自立及び消費と環境	ア 食事と健康	<ul style="list-style-type: none"> 全国高校生料理コンクール（全国高等学校家庭クラブ連盟主催）への作品を考える いわて秋鮭コンクール（岩手県漁連主催）への作品を考える 牛乳・乳製品利用料理コンクール（社団法人日本酪農乳業協会主催）への作品を考える 	⑤
			<ul style="list-style-type: none"> 郷土料理について調査し、普及活動を行う 〈平成21年度研究集録第46集「岩手の郷土食－高校生と教師のレポート集－」岩手県高等学校教育研究会家庭部会〉 	⑥
		イ 被服と着装	<ul style="list-style-type: none"> 基礎縫いで防虫剤入れを製作し、学校や地域生活に役立てる 	⑦
		ウ 住居と住環境	<ul style="list-style-type: none"> 基礎縫いでカーテンタッセルを製作し、学校や地域生活に役立てる 教室や特別教室のカーテンの修繕を行う 	⑧
			<ul style="list-style-type: none"> トイレを脱臭する工夫をして、学校や地域生活に役立てる 	⑨
			<ul style="list-style-type: none"> 廃油でろうそく作りをして、学校で非常時に備えておく 	⑩
		エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画	<ul style="list-style-type: none"> 牛乳パックを再利用してリサイクル品を作り、学校に設置する 	⑪
		オ ライフスタイルと環境	<ul style="list-style-type: none"> アクリルたわしを製作し、学校や地域生活に役立てる 	⑫
		カ 生涯の生活設計	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会、職業労働・家事労働などに関連する新聞記事を集め、NIE（教育活動に新聞記事を活用すること）の活動に取り組む 〈川地里美(2011),「情報活用ワークブック」〉 文化祭で学校家庭クラブ活動の紹介をする 	⑬

活動内容	学習内容	指導例	展開例	
2 ボランティア活動	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉	ア 青年期の自立と家族・家庭	・自分たちができる地域のボランティア活動について考えさせる	①
		イ 子どもの発達と保育	・折り紙や絵本の読み聞かせを行い、幼稚園、保育所での交流に役立てる 〈総合教育センター(2005),「子どものかかわり方学習教材セット」〉	②
		ウ 高齢期の生活	・シニア体験を行い、高齢者福祉施設での交流に役立てる	③
		エ 共生社会と福祉	・1円募金、歳末たすけあい募金活動の意義を考えさせる	④
	(2) 生活の自立及び消費と環境	ア 食事と健康	・幼稚園、保育所や小学校へ訪問して、食育についての授業を行う	⑤
		イ 被服と着装	・不用被服の収集活動を行う	⑥
		ウ 住居と住環境	・高齢者福祉施設へ訪問し、掃除のお手伝いをする ・冬に雪かきスノーバスターズを行う	⑦
		エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画	・中学校へ訪問して、悪徳商法についての講座を行う	⑧
		オ ライフスタイルと環境	・ペットボトルキャップ、プルタブ・アルミ缶の回収活動を行う	⑨
		カ 生涯の生活設計	・生活設計について学び、自分の進路や将来の職業について考えさせ、ボランティア活動で様々な職業の方と交流する際に役立てる	⑩
	3 交流活動	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 (2) 生活の自立及び消費と環境	・他校家庭クラブ員との交流を行う ・指導者養成講座に参加する(全国高等学校家庭クラブ連盟指導者養成講座, 岩手県高等学校家庭クラブ連盟指導者養成講座)	①

学校家庭クラブ活動の展開例 1-①

指 導 例	基礎縫いで袋物を製作し、地域生活に役立てる 授業時間：2時間	
指 導 の ね ら い	基礎縫いで袋物を製作し、子どもの心身の発達や生活などについて考えさせる	
関連する活動・学習内容	研究・広報活動	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 イ 子どもの発達と保育
準備する教材・教具	被服製作4級の基礎縫い教材，ミシン，アイロン，裁縫道具（手縫い針と糸）	
製作後の活用	地域生活で，幼稚園・保育所や高齢者福祉施設などに寄贈し，使っていただく	

〈 活 動 〉

－製作の前に－

「子どもの発達と保育」の授業後，子どもの生活について考えさせ，子どもたちが幼稚園・保育所で使用する物は何かを考えさせる。使用する物の大きさを調べ，大きさや使用目的に合わせて適する布，色を考えさせる。余り布や家庭での不用被服で適するものがあれば活用させる

- 1 被服製作4級の教材を活用し，基礎縫いの復習を行う（授業1時間）【図1】
- 2 製作する袋の大きさに合わせて，布を裁断して巾着袋の製作をする【図2】【図3】



【図1】



【図2】



【図3】

子どもが幼稚園・保育所で使用する物に合わせて製作する



立体的な物を入れるときにはマチをつくる



底面（裏）

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述	
評価規準	B	子どもの心身の発達や生活などについて考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-②

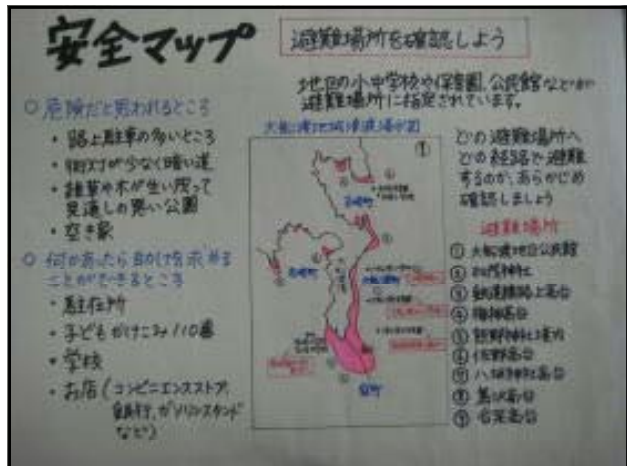
指 導 例	地域の遊び場・危険箇所を調査して安全マップを作成する 授業時間：1～2時間
指 導 の ね ら い	子どもを取り巻く環境の変化などを視野に入れ、子どもにとってよりよい環境について考えさせる
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 イ 子どもの発達と保育
準備する教材・教具	教科書，家庭科学習ノート（岩手県高等学校教育研究会家庭部会），家庭科資料集，模造紙，筆記用具
活 動 後	学校で，調査でわかったことを模造紙やレポートにまとめ，学校家庭クラブ通信として全校に配布したり，安全マップを製作して校内に展示したりする

〈 活 動 〉

- 1 地域の子どもの遊び場や地域の危険な場所について，インターネットで情報を集めたり，地域の情報誌などで調査したりする
- 2 調査でわかったことを模造紙やレポートにまとめ，学校家庭クラブ通信として全校に配布したり，安全マップを製作して校内に展示したりする【図1】～【図3】



【図1】



【図3】



【図2】

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

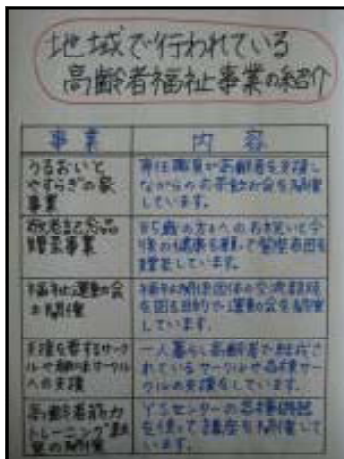
方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 子どもにとってよりよい環境について考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-③

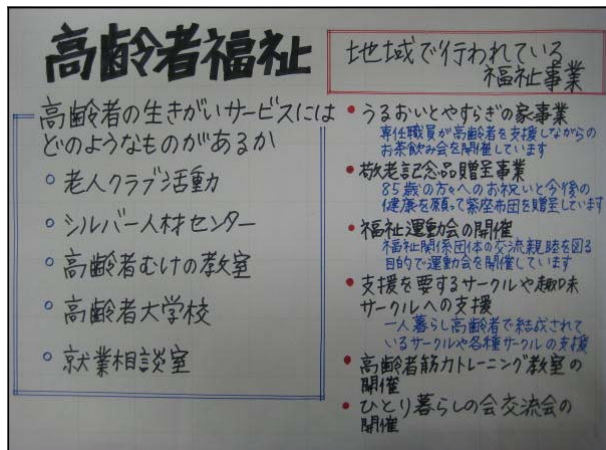
指 導 例	地域で行っている高齢者の社会参加について調べる 授業時間：1～2時間
指 導 の ね ら い	高齢者が安心して自立的な生活を送るために、地域及び社会が果たす役割について考えさせる
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 エ 共生社会と福祉
準備する教材・教具	教科書、家庭科学習ノート（岩手県高等学校教育研究会家庭部会）、家庭科資料集、模造紙、筆記用具
活 動 後	・学校で、学校家庭クラブ通信として全校に配布したり、ポスターを製作して校内に展示したりする ・学校の文化祭で展示発表をする

〈 活 動 〉

- 1 地域で行っている高齢者の社会参加にはどのようなものがあるのか、インターネットで情報を集めたり、地域の情報誌などで調査したりする
- 2 調査でわかったことを模造紙やレポートにまとめ、学校家庭クラブ通信として全校に配布したり、ポスターを製作して校内に展示したりする 【図1】～【図3】



【図1】



【図3】



【図2】

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

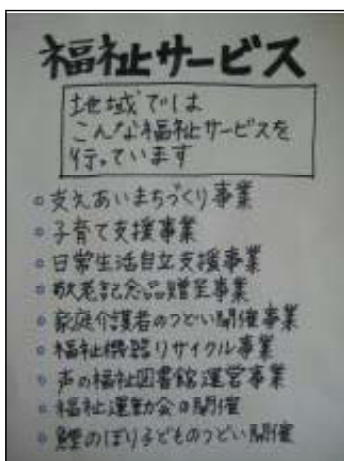
方法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 高齢者が安心して自立的な生活を送るために、地域及び社会が果たす役割について考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-④

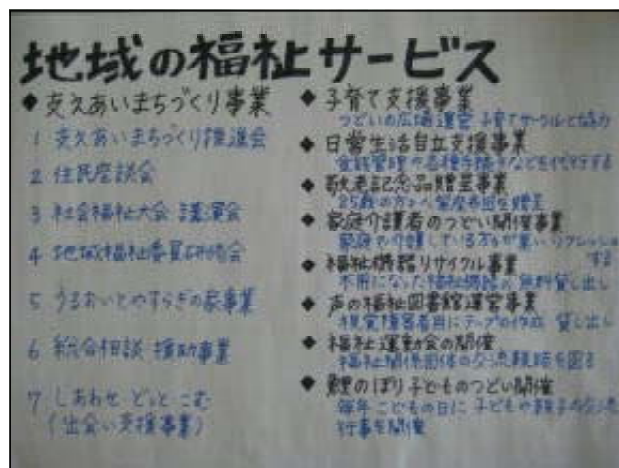
指 導 例	地域の福祉サービスについて調査する 授業時間：1～2時間
指 導 の ね ら い	家庭や地域及び社会の一員として生活するための重要性を考えさせる
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 エ 共生社会と福祉
準備する教材・教具	教科書，家庭科学習ノート（岩手県高等学校教育研究会家庭部会），家庭科資料集，模造紙，筆記用具
活 動 後	・学校で，学校家庭クラブ通信として全校に配布したり，ポスターを製作して校内に展示したりして，普及活動をする ・学校の文化祭で展示発表をする

〈 活 動 〉

- 1 地域にはどんな福祉サービスがあるのか，インターネットで情報を集めたり，地域の情報誌などで調査したりする
- 2 調査でわかったことを模造紙やレポートにまとめ，学校家庭クラブ通信として全校に配布したり，ポスターを製作して校内に展示したりする【図1】～【図3】



【図1】



【図3】



【図2】

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 家庭や地域及び社会の一員として生活するための重要性を考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-⑤

指 導 例	料理コンクールへの出品作品を考える 授業時間：1時間	
指 導 の ね ら い	自分の食生活の自立に向け、日常食や地域の食材を生かした献立を考えさせる	
関連する活動・学習内容	研究・広報活動	(2) 生活の自立及び消費と環境 ア 食事と健康
準備する教材・教具	教科書、家庭科学習ノート（岩手県高等学校教育研究会家庭部会）、家庭科資料集、各コンクール実施要項	
活 動 後	<ul style="list-style-type: none"> ・良い作品はコンクールへ応募する ・文化祭で作品の紹介をする ・考えた献立で調理実習を行う 	

〈 活 動 〉
ー活動の前にー

青年期における毎日の食事の重要性について理解させ、食事摂取基準や食品群別摂取量の目安などを理解させる。それを活用して毎日の食事を考え、生活の中で実践できるようにさせる。

- 1 コンクールのねらいや応募の条件などについて説明をする
- 2 コンクールのための出品作品を考えさせる



主材料の分量は50g以上を目安とする
(ただし、いわて・秋さけ料理コンクールは秋さけをまるごと使用する工夫を考える)



作品例：鮭の竜田揚げ 野菜のクリームソースかけ
 ・鮭の竜田揚げ → 鮭、小麦粉
 ・野菜のクリームソース → 野菜（県産食材）、小麦粉、バター、牛乳、生クリーム

参考文献：中屋紀子(2002), 『1人・1品・3まわり 新しい調理実習の試み』, 教育図書株式会社

牛乳 バター 生クリーム スキムミルク
(脱脂粉乳)

牛乳・乳製品利用料理コンクールで使用する材料
(それぞれ使用基準がある)

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 自分の食生活の自立に向け、日常食や地域の食材を生かした献立を考えている

〈料理コンクール一覧〉 ※募集期間、募集条件などは平成23年度のものです

各種料理コンクール	募集期間	募集条件など
全国高校生料理コンクール (全国高等学校家庭クラブ連盟主催)	7月1日～9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食材と小麦粉やパスタなどを使って作る私のアイデア料理 ・テーマ「楽しい会話が弾む私の自慢料理」 ・調理時間1時間以内、経費1人分500円以内
いわて・秋さけ料理コンクール(岩手県漁連主催)	9月～10月	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県の魚である南部さけをメインとし、岩手県産農産物も素材として取り入れたオリジナル料理
牛乳・乳製品利用料理コンクール (社団法人日本酪農乳業協会主催)	8月1日～8月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳、バター、生クリーム、スキムミルク(脱脂粉乳)の使用基準がある ・調理時間1時間以内

県内各地域の料理コンクール	募集期間	募集条件など
高校生調理・製菓コンテスト「いわて青春厨房」 チョリコン	6月10日(締め切り)	<ul style="list-style-type: none"> ・いわてのお米(米粉)、岩手の食材を活用したお弁当 ・お菓子各部門
雑穀スイーツレシピコンテスト(花巻市)	9月15日～10月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・課題「お土産にしたい『雑穀の菓子』」 ・使用する雑穀：以下のいずれかを使用すること(複数種使用可) ヒエ、ハトムギ、イナキビ、アワ、タカキビ、アマランサス、乾トウモロコシ、岩手みどり(=大豆の種類。応募の際は、大豆一般ではなく「岩手みどり」を使用のこと、黒米、赤米の精白した原穀、ミックス商品、発泡・製粉商品などとする) ※使用する雑穀は花巻産を原則とする。ただし、岩手県産のものも可とする
フェアトレード料理コンテスト	11月3日(開催日)	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレードのスパイスやカレーを使う
いわいずみ短角牛+1料理コンテスト	1月10日～2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で手軽に調理できるもの、町民が普段食べやすいもの、または野外で手軽に食べられるもの

学校家庭クラブ活動の展開例 1-⑥

指 導 例	郷土料理について調査し、普及活動を行う 授業時間：1～2時間
指 導 の ね ら い	地域の行事食や日常食について学び、食文化を継承する意義について考えさせる
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 ア 食事と健康
準備する教材・教具	教科書、家庭科学習ノート（岩手県高等学校教育研究会家庭部会）、家庭科資料集、平成21年度研究集録第46集「岩手の郷土食－高校生と教師のレポート集－」（岩手県高等学校教育研究会家庭部会）
活 動 後	調べた郷土料理を調理実習で作る

〈 活 動 〉

- 1 地域で取れる食材や郷土料理についてインターネットで情報を集めたり、家族に聞いたり、地域の情報誌などで調査したりする
- 2 調べた郷土料理を調理実習で作る

調理例 「鮭のあら汁」



沿岸地区の郷土料理
魚のあら、大根、人参、葱などが入っている汁物

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 食文化を継承する意義について考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-⑦

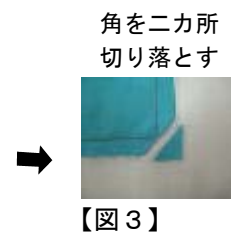
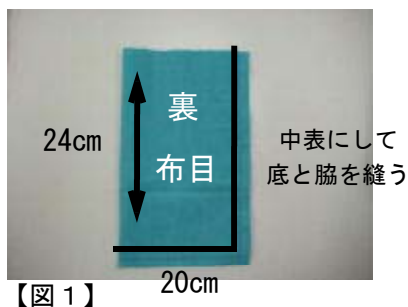
指 導 例	基礎縫いで防虫剤入れを製作し、学校や地域生活に役立てる 授業時間：1～2時間
指 導 の ね ら い	基礎縫いで防虫剤入れを製作し、衣生活を管理する大切さを考えさせる
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 イ 被服と着装
準備する教材・教具	布地縦24cm×横20cm 1枚, リボン25cm, 防虫剤 (パラジクロベンゼン・しょうのう・ナフタリン・ピレスロイド系など個装になっているもの) 適量, ミシン, アイロン, 裁縫道具 (手縫いの場合は手縫い針と糸)
製作後の活用	・学校では, 行事の時に使用する暗幕などを保管する際に使用する ・地域生活では, 幼稚園・保育所や高齢者福祉施設などに寄贈し, 使っていただく

〈 作 り 方 〉 (※手縫いでもミシンでも製作できます)

－製作の前に－

防虫剤の種類と使い方について学習する。布地の通気性について学習する

- 1 布地に, 裁断する所, 縫い代1cmの印をつける
- 2 布を裁断する
- 3 中表にして底と脇を縫う【図1】
- 4 袋口を三つ折りにして縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする【(図2)】
- 4 中表にして周りを縫う
- 5 角を二ヶ所切り落として表に返して防虫剤を入れ, リボンで結ぶ【図3】【図4】



〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 日常着の手入れ, 保管などの衣生活の管理について考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-⑧

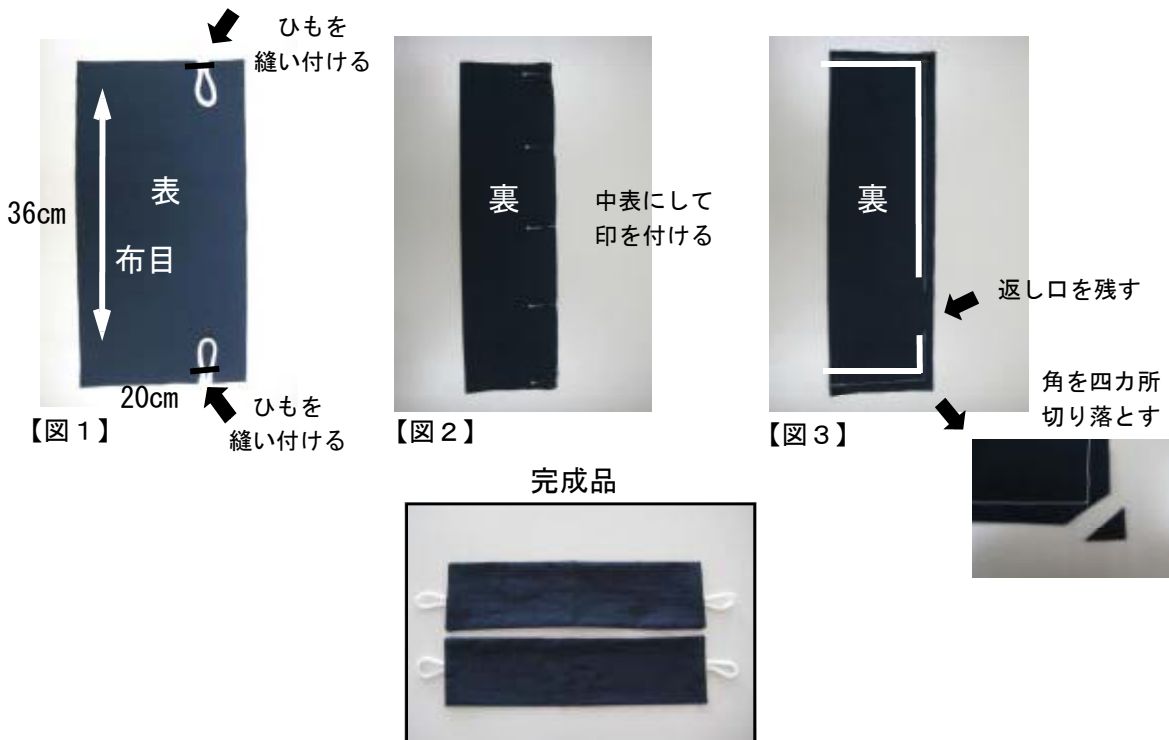
指導例	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎縫いでカーテンタッセルを製作し、学校や地域生活に役立てる ・ホームルームや特別教室のカーテンの修繕を行う 授業時間：1～2時間
指導のねらい	基礎縫いでカーテンタッセルを製作し、快適な住環境を整える工夫を考えさせる
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 ウ 住居と住環境
準備する教材・教具	布地縦36cm×横20cm 2枚、ひも12cm 4本、ミシン、アイロン、裁縫道具（手縫いの場合は手縫い針と糸）
製作後の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、カーテンタッセルが壊れたり、紛失したりしたホームルーム・特別教室などで使用する ・地域生活では、幼稚園・保育所や高齢者福祉施設などに寄贈し、使っていただく

〈 作 り 方 〉（※手縫いでもミシンでも製作できます）

－製作の前に－

教室や特別教室のカーテン生地を調べ、カーテンタッセルに適する布、色を考えさせる。余り布や家庭での不用被服で適するものがあれば活用させる。カーテンがほつれていたり、壊れていたりする場合は修繕させる

- 1 布地に、裁断する所、1cmの縫い代、ひも付け位置の印をつける
- 2 布を裁断する
- 3 ひも付け位置に、ひもを縫い付ける【図1】
- 4 中表にしてまち針で止め、返し口を残して縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする【図2】【図3】
- 5 角を四カ所切り落として、表に返し、返し口を縫う



〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 快適な住環境を整えるための工夫について、考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-⑨

指 導 例	トイレを脱臭する工夫をして、学校や地域生活に役立てる 授業時間：1時間
指 導 の ね ら い	空間を脱臭して、快適な住環境を整える工夫を考えさせる
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 ウ 住居と住環境
準備する教材・教具	使用済みのレギュラーコーヒーのカス、飲料の紙パックなど
製作後の活用	・学校では、トイレにおいて使用する ・地域の幼稚園や保育所、高齢者福祉施設等に持って行き、使っ ていただく

〈 作 り 方 〉

－製作の前に－

使用済みのレギュラーコーヒーのカスを乾燥させたものの脱臭効果について調べさせる

- 1 使用済みのレギュラーコーヒーのカスを乾燥させる【図1】【図2】
- 2 飲料の紙パックに包装紙などを貼り、工夫して容器を作成する【図3】～【図5】
- 3 乾燥させたレギュラーコーヒーのカスを容器に入れて、トイレの個室【図6】、汚物入れ付近【図7】、手洗い場【図8】など脱臭が必要な場所に置く
- 4 乾燥させたレギュラーコーヒーのカスは、家庭クラブ委員や掃除当番が定期的に交換する



【図1】



【図2】



【図3】平らな容器にすると置き場所がなくこぼれやすい



【図4】容器の工夫をする



【図5】容器には千枚通しなどで穴をあける



【図6】



【図7】



【図8】

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 快適な住環境を整えるための工夫について考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-⑩

指 導 例	廃油でろうそく作りをして，学校で非常時に備えておく 授業時間：1時間
指 導 の ね ら い	非常時に備える方法について考えさせる
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 ウ 住居と住環境
準備する教材・教具	廃油400ml，廃油を固める粉末油脂，アルミカップ5個， タコ糸5cm5本，割りばし
製作後の活用	学校で，非常時に備えておく

〈 作 り 方 〉

－製作の前に－

非常時に必要なものは何かを考えさせる

- 1 廃油約400mlをなべにとり，火にかけ温める【図1】
- 2 油温が80～85℃前後になったら廃油を固める粉末油脂剤を約15gの割合で入れ，粉末剤が溶けるまで十分混ぜる
- 3 ローソクの芯となるたこひもは割りばしの間にはさんで固定し，容器の中央にセットする【図2】
- 4 2の廃食油を熱いうちに適当量流し込む
- 5 室温になるまで放置する（30分以上放置）



【図1】



【図2】

完成品



参考文献：平田美咲(2010)，『かわいいエコ雑貨』，株式会社小学館
※掲載にあたっては管理者に許諾を得ています

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 非常時に備えるための方法について考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-①

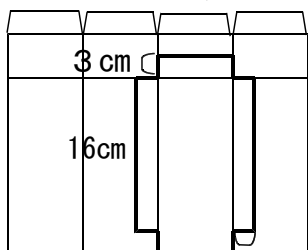
指 導 例	牛乳パックを再利用してリサイクル品を作り，学校に設置する 授業時間：1～2時間
指 導 の ね ら い	リサイクル品を作り，環境や資源に配慮した生活の工夫を考えさせる
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画
準備する教材・教具	1 リットル牛乳パック（洗って乾かしておく），布地縦15cm×横25cm，フェルト縦13cm×横22cm，すべり止めシート縦7cm×横15cm，リボン20cm4本，両面テープ（アイロンで付けるため粘着剤がアクリル系のもの），はさみまたはカッター，千枚通し，アイロン
製作後の活用	・学校では，小物入れとして活用する ・地域生活では，幼稚園・保育所や高齢者福祉施設などに寄贈し，使っていただく

〈 作 り 方 〉

－製作の前に－

家庭で牛乳パックをどのようにリサイクルしているか調べさせる。牛乳パックの利用方法について考えさせる

- 1 牛乳パックを開いて図のように切り取る【図1】
- 2 布を牛乳パックの形に裁断し，すべり止めシートを縫いつける【図2】
- 3 内側の白い面に両面テープを貼り，布を貼り合わせる【図3】
- 4 表に返してはみでた布を折り返して，その上から両面テープを貼りフェルトを貼り合わせる
- 5 上からなるべく高い温度でアイロンをかける【図4】【図5】
- 6 四隅を折り曲げ，千枚通しで穴を開け，リボンを通して結ぶ【図6】



【図1】



【図2】



【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

完成品



参考Webページ：雪印メグミルク
<http://www.meg-snow.com/>
 ※掲載にあたっては管理者に許諾を得ています

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 環境や資源に配慮した生活について考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-⑫

指 導 例	<p>アクリルたわしを製作し、学校や地域生活に役立てる</p> <p style="text-align: right;">授業時間：1時間</p>
指 導 の ね ら い	製作を通して、環境や資源に配慮した生活を考えさせる
関連する活動・学習内容	<p>研究・広報活動</p> <p>(2) 生活の自立及び消費と環境 オ ライフスタイルと環境</p>
準備する教材・教具	毛糸（アクリル100%）、使用済不要葉書（15cm×10cm） 裁ちばさみ
製作後の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、流し場の清掃で使用する ・地域生活では、幼稚園・保育所や高齢者福祉施設などに寄贈し、使っていただく

〈 作 り 方 〉

－製作の前に－

アクリルたわしは何故汚れを落とすのか調べさせる

- 1 糸の端を30cm位残して、葉書に巻いていく【図1】
- 2 100回くらい巻いて巻いた糸をくずさないように葉書からはずす
- 3 最初に残しておいた糸の端を使って、糸の束の中心を3回くらいきつく巻きつける【図2】
- 4 糸の束をはさみで切り開く【図3】



【図1】



【図2】



【図3】

完成品



シンクの汚れを洗剤を使用せずに落とすことができます

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 環境や資源に配慮した生活について考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 1-⑬

指 導 例	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会、職業労働、家事労働などに関連する新聞記事を集め、NIE（教育活動に新聞記事を活用すること）の活動に取り組む ・文化祭で学校家庭クラブ活動の紹介をする <p style="text-align: right;">授業時間：1～2時間</p>
指 導 の ね ら い	NIEの活動を通して家庭や社会の生活課題を見出し、よりよい対応や解決策を考える
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 力 生涯の生活設計
準備する教材・教具	新聞（全国紙、地方紙）、模造紙、はさみ、のり、国語辞書・地図帳など
作 成 後	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で、展示発表を行う ・学校の文化祭で、展示発表を行う

〈 作 成 手 順 〉

- 1 新聞を読んで興味・関心を持った記事を切り抜く。新聞記事は折りたたまずに、模造紙の構成を考え、模造紙に貼る
- 2 新聞記事を読みながら、わからない語句・時事用語や地理を調べ、模造紙の余白に意味や地図を書き込んでいく。そのために、国語辞書、日本と世界の地図帳は、NIE活動に欠かせない
- 3 新聞記事の内容を把握するために、要約や、意見、問題の見だし、改善策の検討等項目を工夫し、考えたことを言葉に表現してまとめていく【図1】
留意点：新聞は著作物なので、著作権は発行した新聞社にある。これを自身の学習に活用する場合は、記事ごとに「記事の出典（新聞社名）」「新聞の発行日」を必ず明記する必要がある（なお、研究資料として公開する場合は、新聞社に対し使用についての許諾を得る必要がある）
- 4 個人、またはグループごとに作成したNIEの教材を発表させる
- 5 発表の中から、地域の課題や改善策を考えさせ、自分たちの学校や地域生活で役立てることはないかを考えさせる



【図1】

引用文献：川地里美(2011),「情報活用ワークブック」
新聞記事の出典：読売新聞、平成24年2月28日(火)
※掲載にあたっては管理者に許諾を得ています

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 新聞記事から生活課題を見出し、よりよい対応や解決策を考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 2-①

指 導 例	自分たちができる地域のボランティア活動について考えさせる 授業時間：1時間				
指 導 の ね ら い	社会福祉協議会で、地域のボランティア活動などについて調べる				
関連する活動・学習内容	ボランティア活動 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 ア 青年期の自立と家族・家庭				
準備する教材・教具					
活 動 後	調べた後、地域のボランティア活動を行う				
<p>〈 活 動 〉</p> <p>1 地域の社会福祉協議会から、どんなボランティア活動があるか情報を集める 2 自分たちができるボランティア活動を考えさせる</p> <p>○社会福祉協議会とは 社会福祉協議会は、地域社会において住民の参加する福祉活動を推進し、保健・福祉の諸問題を地域社会の計画的・協働的な力によって解決しようとする、公共性の高い民間非営利団体一人ひとりの住民が安心して暮らせる福祉のまちづくりの実現をめざしている 特に、ボランティアセンターは、ボランティアの活動を通して住民が「まちづくり」に参加するための重要な窓口として位置づけられ、県内の各市町村に設置されている ボランティアセンターでは、ボランティア活動への住民の参加を広く呼びかけるとともに、その活動を推進するために様々な支援を行っている</p> <p>○ボランティアセンターの主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ボランティア活動希望者、ボランティアを必要とする人の相談 ボランティア活動の相談窓口として、活動先を紹介したり、ボランティアを求める人とのパイプ役をしている ◆ボランティアグループの育成と援助 助成金公募情報やイベント・講座の開催情報案内など各種ボランティアグループの活動をサポートしている ◆ボランティア（活動）に関する情報提供 県内や全国の活動が掲載されたボランティア情報誌や各市町村で行われるボランティア活動を紹介している ◆ボランティア養成講座、研修会の開催 手話教室や、点字教室など初心者向けの養成講座や団体向けのリーダー研修等を開催し、ボランティア活動の普及に努めている ◆ボランティア活動保険の加入促進 ボランティア活動中の万一の事故に備えて、保険の加入窓口をボランティアセンターで行っている。安心して活動をしてもらうために「ボランティア活動保険」の加入を薦めている (平成24年3月現在、1人490円) 					
<p>〈 評 価 の 例 〉</p> <p>※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している</p> <table border="1"> <tr> <td>方 法</td> <td>学習シートへの生徒記述</td> </tr> <tr> <td>評価規準</td> <td>B 自分たちができるボランティア活動について考えている</td> </tr> </table>		方 法	学習シートへの生徒記述	評価規準	B 自分たちができるボランティア活動について考えている
方 法	学習シートへの生徒記述				
評価規準	B 自分たちができるボランティア活動について考えている				

〈県内の社会福祉協議会〉

- 盛岡市社会福祉協議会
020-0886 盛岡市若園町2-2
盛岡市総合福祉センター内
電話 019-651-1000 FAX 019-622-4999
- 宮古市社会福祉協議会
027-0038 宮古市小山田2-9-20
宮古市総合福祉センター内
電話 0193-64-5050 FAX 0193-64-5055
- 大船渡市社会福祉協議会
022-0006 大船渡市立根町字下欠125-12
大船渡市Y・Sセンター内
電話 0192-27-0001 FAX 0192-27-0800
- 奥州市社会福祉協議会
023-0851 奥州市水沢区南町5-12
市総合福祉センター内
電話 0197-25-6158 FAX 0197-25-6690
- 花巻市社会福祉協議会
025-0095 花巻市石神町364
花巻市総合福祉センター内
電話 0198-24-7222 FAX 0198-22-4283
- 北上市社会福祉協議会
024-0012 北上市常盤台2-1-63
北上市総合福祉センター内
電話 0197-64-1212 FAX 0197-64-7580
- 久慈市社会福祉協議会
028-0014 久慈市旭町7-127-3
久慈市総合福祉センター内
電話 0194-53-3380 FAX 0194-52-7715
- 遠野市社会福祉協議会
028-0541 遠野市松崎町白岩字薬研淵1-3
市総合福祉センター内
電話 0198-62-8459 FAX 0198-62-9311
- 一関市社会福祉協議会
021-0877 一関市城内1-36
一関市総合福祉センター内
電話 0191-23-6020 FAX 0191-23-6024
- 陸前高田市社会福祉協議会
029-2205 陸前高田市高田町字館の沖138
市ふれあいセンター内
電話 0192-54-5151 FAX 0192-54-4775
- 釜石市社会福祉協議会
026-0023 釜石市大渡町3-15-26
釜石市保健福祉センター内
電話 0193-24-2511 FAX 0193-24-2507
- 八幡平市社会福祉協議会
028-7301 八幡平市野駄19-50
市総合福祉センター内
電話 0195-74-4400 FAX 0195-74-4402
- 二戸市社会福祉協議会
028-6106 二戸市仁左平字横手2-3
あったかセンター内
電話 0195-25-4959 FAX 0195-25-4955
- 雫石町社会福祉協議会
020-0541 岩手郡雫石町千刈田82-2
雫石町総合福祉センター内
電話 019-692-2230 FAX 019-691-1140
- 葛巻町社会福祉協議会
028-5402 岩手郡葛巻町葛巻16-1-1
町老人福祉センター内
電話 0195-66-2111 FAX 0195-66-3665
- 岩手町社会福祉協議会
028-4307 岩手郡岩手町五日市10-51-1
電話 0195-62-3570 FAX 0195-62-1599
- 滝沢村社会福祉協議会
020-0172 岩手郡滝沢村鶴飼中鶴飼47-1
村老人福祉センター内
電話 019-684-1110 FAX 019-684-1121
- 紫波町社会福祉協議会
028-3304 紫波郡紫波町二日町字古館356-1
町総合福祉センター内
電話 019-672-3258 FAX 019-672-5039
- 矢巾町社会福祉協議会
028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅14-78
町保健福祉交流センター内
電話 019-611-2840 FAX 019-697-8967
- 西和賀町社会福祉協議会
029-5614 西和賀町沢内太田2-81-1
太田老人福祉センター内
電話 0197-85-3225 FAX 0197-85-3234
- 金ヶ崎町社会福祉協議会
029-4503 胆沢郡金ヶ崎町西根南羽沢43
福祉センター内
電話 0197-44-6060 FAX 0197-44-6106
- 平泉町社会福祉協議会
029-4102 西磐井郡平泉町平泉字毛越248
電話 0191-46-5077 FAX 0191-46-4887
- 藤沢町社会福祉協議会
029-3405 東磐井郡藤沢町藤沢字町裏55
福祉医療センター内
電話 0191-63-2111 FAX 0191-63-5122
- 住田町社会福祉協議会
029-2311 気仙郡住田町世田米字川向96-5
住田町保健福祉センター内
電話 0192-46-2300 FAX 0192-46-2321
- 大槌町社会福祉協議会
028-1112 上閉伊郡大槌町大町5-7
電話 0193-41-1511 FAX 0193-41-1512
- 山田町社会福祉協議会
028-1341 下閉伊郡山田町八幡町3番20号
町保健・老人福祉センター内
電話 0193-82-3841 FAX 0193-83-5670
- 岩泉町社会福祉協議会
027-0501 下閉伊郡岩泉町岩泉字森の越4-14
電話 0194-22-3400 FAX 0194-31-1033
- 田野畑村社会福祉協議会
028-8407 下閉伊郡田野畑村田野畑120-1
村保健センター内
電話 0194-33-3025 FAX 0194-33-3025
- 普代村社会福祉協議会
028-8335 下閉伊郡普代村第13地割字普代169-1
自然休養村管理センター内
電話 0194-35-2100 FAX 0194-35-3664
- 軽米町社会福祉協議会
028-6301 九戸郡軽米町大字上館1-78-1
軽米町老人福祉センター内
電話 0195-46-2881 FAX 0195-46-4592
- 洋野町社会福祉協議会
028-7914 洋野町種市23-27-2
種市生活改善センター内
電話 0194-65-5360 FAX 0194-65-5450
- 野田村社会福祉協議会
028-8201 九戸郡野田村大字野田20-38-5
(野田村役場隣仮設事務所)
電話 0194-71-1414 FAX 0194-71-1415
- 九戸村社会福祉協議会
028-6502 九戸郡九戸村大字伊保内7-39-4
九戸村総合福祉センター内
電話 0195-41-1200 FAX 0195-42-2064
- 一戸町社会福祉協議会
028-5312 二戸郡一戸町一戸字砂森93-2
町総合保健福祉センター内
電話 0195-33-3385 FAX 0195-33-2737

学校家庭クラブ活動の展開例 2-②

指 導 例	折り紙や絵本の読み聞かせを行い、幼稚園、保育所での交流に役立てる 授業時間：1～2時間
指 導 の ね ら い	乳幼児の心身の発達と生活について考えさせる
関連する活動・学習内容	ボランティア活動 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 イ 子どもの発達と保育
準備する教材・教具	折り紙、絵本
活 動 後	幼稚園・保育所への訪問の際に、折り紙を折って交流したり、絵本の読み聞かせを行ったりする。

〈 活 動 〉

－活動の前に－

折り紙の折り方を調べさせる。乳幼児がどのような絵本を読んでいるか調べさせる

- ・乳幼児が折ることができる折り紙を考えさせる【図1】
- ・絵本の読み聞かせ
乳幼児が読んでいる絵本を1冊選び、ペアになって読み聞かせる
絵本の持ち方、めくり方にも気を付ける
読み聞かせ合ったあとで、お互いに印象に残った場面、読み聞かせの良かったところ、工夫するとよいところなどを発表させる



【図1】 全国高等学校家庭科保育技術検定、造形表現技術の練習をさせて、幼稚園・保育園での交流の際に役立てる

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 乳幼児の心身の発達と生活について考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 2-③

指 導 例	シニア体験を行い、高齢者福祉施設での交流に役立てる 授業時間：1～2時間
指 導 の ね ら い	体験を通し、高齢者の加齢に伴う心身の変化や特徴を考えさせる
関連する活動・学習内容	ボランティア活動 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 ウ 高齢期の生活
準備する教材・教具	ゴーグル、ゴム手袋(2組)、耳栓、セロテープ、はし、皿、大豆、定規、教科書
体 験 後	高齢者福祉施設訪問での交流に役立てる

〈シニア体験〉

身近な道具を使って、高齢者にとって日常生活がどのように不便であるか、その気持ちを考えさせる。

- 1 ゴーグルをして見えにくい状態にする(視力が低下した状態)
- 2 耳栓をして、耳が遠い状態にする(聴力が低下した状態)
- 3 ビニール手袋を装着し、人差し指と中指、薬指と小指を一緒にし、第二関節付近でテープを巻いて固定する(手指の感覚が鈍くなってきた状態)

○こんなことをやってみよう

- ・はしを使って、大豆を皿から皿に5粒移す
- ・定規を使って、線を引いてみる
- ・指定した教科書のページを開き、読んでみる

○体験後

- ・体験した時、どんな感じがしたか、発表させる
- ・身体機能の変化やそれに伴う不便さから、高齢者がどのような心理になりやすいか考えさせる

参考資料 シニア体験セット(教育図書のものを使用しています)



ひじとひざのサポーター
(ひじとひざが曲がらない状態にする)



ゴーグルとイヤードیفENDER
(視力と聴力が低下した状態にする)



手首と足首のおもり
(関節がかたまり、動かしにくい状態にする)



シニア体験セットを身に付けた後、廊下や階段を歩くなどして、日常生活がどのように不便であるか、考えさせる



参考文献：中間美砂子ほか48名(2006),『新家庭総合—生活の創造をめざして—』,株式会社大修館書店
※掲載にあたっては管理者に許諾を得ています

〈評価の例〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 高齢者の加齢に伴う心身の変化や特徴を考えている

学校家庭クラブ活動の展開例 2-④

指 導 例	1円募金，歳末助け合い運動の意義を考えさせる 授業時間：1時間
指 導 の ね ら い	家庭や地域及び社会の一員として共に支え合って生活することの重要性を考えさせる
関連する活動・学習内容	ボランティア活動 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 エ 共生社会と福祉
準備する教材・教具	
活 動 後	募金活動を行う

〈 活 動 〉

ー活動の前にー

自分たちの住む地域で共同募金がどのように使われているのかをインターネットなどで調べさせる

例) 大船渡市では

○共同募金

老人ホームや保育園，社会福祉協議会で行う事業に使われている。それぞれから申請された内容を岩手県共同募金会でまとめ，翌年度の募金目標が決めている。大船渡市では，各家庭に500円の募金をお願いしている

○歳末助け合い募金

援助を必要とする家庭が，安心して新年を迎えられることを目的とした募金。大船渡市では各家庭に500円の募金をお願いしている

◆募金の使われ方

大きく分けて三つの使い道がある

- 1 高齢者福祉施設や保育所などの社会福祉施設を整備する
- 2 社会福祉協議会で行う事業費
- 3 援助を必要とする世帯

〈 評 価 の 例 〉

※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している

方 法	学習シートへの生徒記述
評価規準	B 家庭や地域及び社会の一員として共に支え合って生活することの重要性について考えている



学校家庭クラブ活動の展開例 2-⑤

指 導 例	幼稚園，保育所や小学校へ訪問して，食育についての授業を行う 授業時間：1～2時間							
指 導 の ね ら い	子どもの食事や健康管理などについて考えさせる							
関連する活動・学習内容	ボランティア活動	(2) 生活の自立及び消費と環境 ウ 住居と住環境						
準備する教材・教具								
活 動 後	幼稚園や保育所，小学校へ訪問する際に役立てる							
<p>〈 活 動 〉 健康で安全な食生活を営むために必要な知識と技術を理解させ，生涯を見通した食生活を営むことができるようにさせる 学んだことを活かして幼稚園や保育所，小学校で講義をさせる</p>								
<p>〈 評 価 の 例 〉 ※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している</p> <table border="1"> <tr> <td>方 法</td> <td colspan="2">学習シートへの生徒記述</td> </tr> <tr> <td>評価規準</td> <td>B</td> <td>子どもの食事や健康管理などについて考えている</td> </tr> </table>			方 法	学習シートへの生徒記述		評価規準	B	子どもの食事や健康管理などについて考えている
方 法	学習シートへの生徒記述							
評価規準	B	子どもの食事や健康管理などについて考えている						

学校家庭クラブ活動の展開例 2-⑥

指 導 例	不用被服の収集活動をする 授業時間：1時間							
指 導 の ね ら い	被服管理について考えさせる							
関連する活動・学習内容	ボランティア活動	(2) 生活の自立及び消費と環境 イ 被服と着装						
準備する教材・教具								
活 動 後	収集活動後，収集している団体へ送る							
<p>〈 活 動 〉 被服と着装の授業後，不用被服がどのように活用されているのか，インターネットなどで調べさせる。自宅にどれくらいの不用被服があるか調べさせる。不用被服の活用方法について考えさせる</p>								
<p>〈 評 価 の 例 〉 ※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している</p> <table border="1"> <tr> <td>方 法</td> <td colspan="2">学習シートへの生徒記述</td> </tr> <tr> <td>評価規準</td> <td>B</td> <td>被服管理について考えている</td> </tr> </table>			方 法	学習シートへの生徒記述		評価規準	B	被服管理について考えている
方 法	学習シートへの生徒記述							
評価規準	B	被服管理について考えている						

学校家庭クラブ活動の展開例 2-⑦

指 導 例	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設へ訪問し、掃除のお手伝いをする ・冬に雪かきスノーバスターズを行う <p style="text-align: right;">授業時間：1～2時間</p>				
指 導 の ね ら い	快適な住生活を営むための工夫を考えさせる				
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 ウ 住居と住環境				
準備する教材・教具					
活 動 後	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設などへ訪問する際に役立つ ・冬に雪かきスノーバスターズをする際に役立つ 				
<p>< 活 動 ></p> <p>・掃除のボランティア活動に行く前に、掃除の方法について考え、実際に校内を掃除する。掃除のより良い方法を考え、ボランティア活動に活かす</p> <p>掃除の例 茶がらを活用</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>葉茶を煎じた残りを乾燥させる</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>乾燥させた茶がら</p> </div> </div> <p>・畳を掃き掃除する際に、乾燥させた茶がらを少し湿らせて畳の上に撒いてから掃くと、ほこりを立てずに掃き掃除ができる</p> <p>・スノーバスターズとは一人暮らし高齢者などの居宅及び居宅周辺の雪かきをするボランティア活動で、希望のあった家の雪かきを行う。屋根から落ちた雪で窓が割れないよう、また、窓を隠して部屋の中が暗くならないようにするため、ボランティアが雪かきをする</p>					
<p>< 評 価 の 例 ></p> <p>※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">方 法</td> <td>学習シートへの生徒記述</td> </tr> <tr> <td>評価規準</td> <td>B 快適な住生活を営むための工夫について考えている</td> </tr> </table>		方 法	学習シートへの生徒記述	評価規準	B 快適な住生活を営むための工夫について考えている
方 法	学習シートへの生徒記述				
評価規準	B 快適な住生活を営むための工夫について考えている				

学校家庭クラブ活動の展開例 2-⑧

指 導 例	<p>中学校へ訪問して、悪徳商法についての講座を行う</p> <p style="text-align: right;">授業時間：1時間</p>				
指 導 の ね ら い	消費者として主体的に判断できるようになるために、消費者の権利と責任について考えさせる				
関連する活動・学習内容	ボランティア活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画				
準備する教材・教具					
活 動 後	中学校へ訪問する際に役立つ				
<p>< 活 動 ></p> <p>消費者の権利や責任について理解させ、適切な意思決定に基づいて行動できるようにさせる 学んだことを生かして中学校で講義をさせる</p>					
<p>< 評 価 の 例 ></p> <p>※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">方 法</td> <td>学習シートへの生徒記述</td> </tr> <tr> <td>評価規準</td> <td>B 消費者として主体的に判断できるようになるために、消費者の権利と責任について考えている</td> </tr> </table>		方 法	学習シートへの生徒記述	評価規準	B 消費者として主体的に判断できるようになるために、消費者の権利と責任について考えている
方 法	学習シートへの生徒記述				
評価規準	B 消費者として主体的に判断できるようになるために、消費者の権利と責任について考えている				

学校家庭クラブ活動の展開例 2-⑨

指 導 例	ペットボトルキャップ、プルタブ・アルミ缶の回収活動を行う 授業時間：1時間				
指 導 の ね ら い	環境負荷の少ない生活の工夫について考えさせる				
関連する活動・学習内容	ボランティア活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 オ ライフスタイルと環境				
準備する教材・教具					
活 動 後	収集活動後、収集している団体へ送る				
<p>〈 活 動 〉</p> <p>ペットボトルキャップ、プルタブ・アルミ缶が回収後どのように活用されているのか、インターネットなどで調べさせる ペットボトルキャップ、プルタブ・アルミ缶を回収するためのボックスやポスター作りなどの工夫を考えさせる</p>					
<p>〈 評 価 の 例 〉</p> <p>※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している</p> <table border="1"> <tr> <td>方法</td> <td>学習シートへの生徒記述</td> </tr> <tr> <td>評価規準</td> <td>B 環境負荷の少ない生活の工夫について考えている</td> </tr> </table>		方法	学習シートへの生徒記述	評価規準	B 環境負荷の少ない生活の工夫について考えている
方法	学習シートへの生徒記述				
評価規準	B 環境負荷の少ない生活の工夫について考えている				

学校家庭クラブ活動の展開例 2-⑩

指 導 例	生活設計について学び、自分の進路や将来の職業について考えさせ、ボランティア活動で様々な職業の方と交流する際に役立てる 授業時間：1時間				
指 導 の ね ら い	将来の生活に向かって、展望をもって生活することの重要性を考えさせる				
関連する活動・学習内容	ボランティア活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 オ ライフスタイルと環境				
準備する教材・教具					
活 動 後	ボランティア活動を行う際に役立てる				
<p>〈 活 動 〉</p> <p>自分が将来つきたい職業について考えさせる。なぜその職業を選んだのか、自分が職業を選ぶ際に影響を受けたことは何かなどを考えさせる 施設などへボランティア活動に行く際には、その職業の仕事内容について調べさせる</p>					
<p>〈 評 価 の 例 〉</p> <p>※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している</p> <table border="1"> <tr> <td>方法</td> <td>学習シートへの生徒記述</td> </tr> <tr> <td>評価規準</td> <td>B 将来の生活に向かって、展望をもって生活することの重要性について考えている</td> </tr> </table>		方法	学習シートへの生徒記述	評価規準	B 将来の生活に向かって、展望をもって生活することの重要性について考えている
方法	学習シートへの生徒記述				
評価規準	B 将来の生活に向かって、展望をもって生活することの重要性について考えている				

学校家庭クラブ活動の展開例 3-①

指 導 例	<ul style="list-style-type: none"> ・他校家庭クラブ員との交流活動を行う ・指導者養成講座に参加する (全国高等学校家庭クラブ連盟指導者養成講座, 岩手県高等学校家庭クラブ連盟指導者養成講座) 	
指 導 の ね ら い	他校家庭クラブ員との交流や指導者養成講座への参加をすることで, 学校家庭クラブ活動への意欲を高めさせる	
関連する活動・学習内容	交流活動	<ul style="list-style-type: none"> (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 (2) 生活の自立及び消費と環境
準備する教材・教具		
活 動 後	交流や指導者養成講座で学んだことを学校家庭クラブ活動へ活かす	
<p>〈 活 動 〉</p> <p>交流活動や指導者養成講座で学んだことをまとめ, 学校家庭クラブ活動通信として全校に配布して, 普及活動をさせる</p>		
<p>〈 評 価 の 例 〉</p> <p>※評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している</p>		
方 法	学習シートへの生徒記述	
評価規準	B	学校家庭クラブ活動の活動内容について考えている

「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」
指導資料

平成24年3月19日印刷

発行 岩手県立総合教育センター

花巻市北湯口2-82-1

〒025-0395 TEL0198-27-2711

発行者 岩手県立総合教育センター

平成23年度長期研修生

川原恵理子
